

フットレストの調整・点検

＜セパレートフットレストの角度修正＞

【図2-11】【図2-12】【図2-13】

セパレートフットレストは、フットレストロッドバーとフットプレートの角度を最適な状態に調整することができます。なお、セパレートフットレストのタイプによって調整方法が異なりますので、装着されているフットレストをご確認ください。(P.26)



注意

調整ボルトを緩めすぎない。

- *フットレストが破損します。
- *フットプレートがフットレストロッドバーに対して90°になるように修正してください。

セパレートフットレスト(スタンダード・ターン)【図2-11】

- 1) フットレストを折りたたむ。
- 2) フットレストロッドバー下端の固定ボルトを外す。
- 3) 調整ボルトを回して最適な角度に調整する。【図2-13】
- 4) 調整ボルト側面のレンチかけに、六角レンチ(2mm)などを差込む。
- 5) 六角レンチ(2mm)などを回らないように支持しながら、固定ボルトを締付ける。
- 6) 左右同様にする。



注意

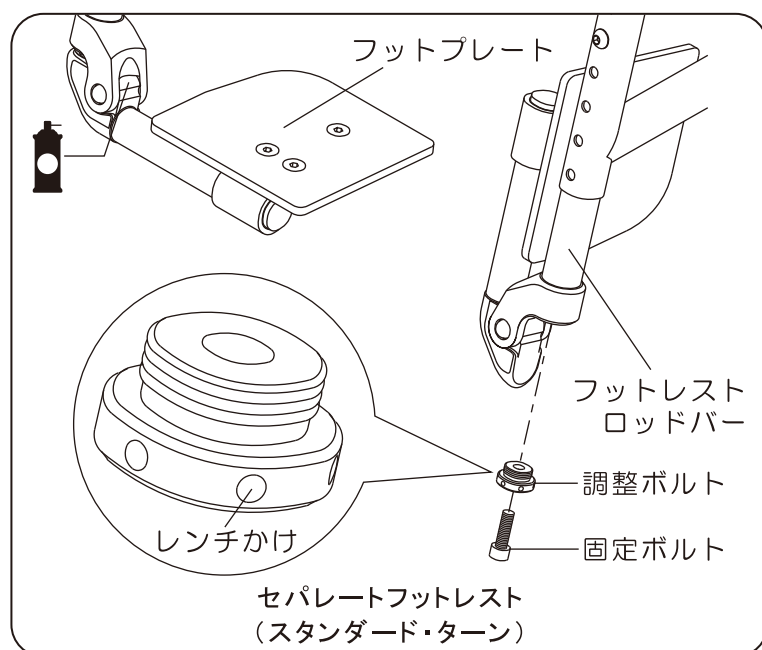
フットレストを折りたたむ際に手をはさまないように注意する。

- *フットプレートとフットレストロッドバーやフレームに、手や指をはさまないようにゆっくとたたんでください。

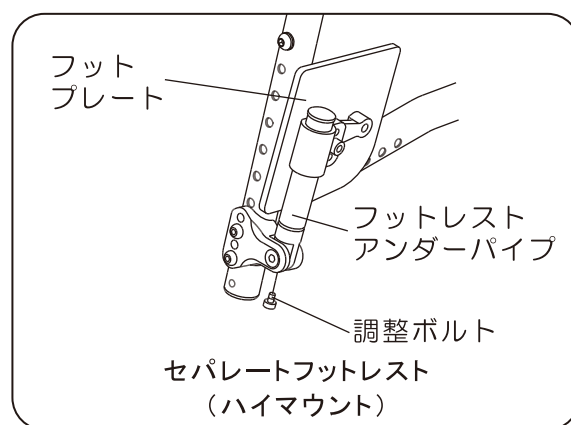
セパレートフットレスト(ハイマウント)【図2-12】

- 1) フットレストを折り上げる。
- 2) フットレストアンダーパイプ下端の調整ボルトを回して最適な角度に調整する。【図2-9】
- 3) 左右同様にする。

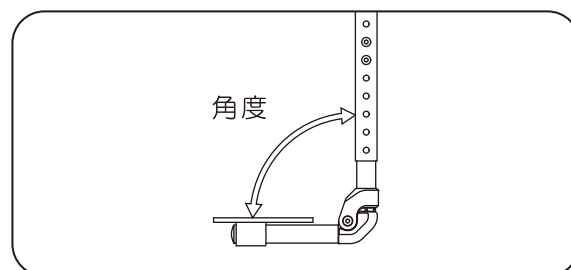
固定ボルト締付けトルク 8N・m(0.8kgf・m)



【図2-11】



【図2-12】



【図2-13】

プレートセパレートフットレスト(ターン)の操作

<開く>【図2-14】

- 1) フットレストを折り上げる。(A)
- 2) フットレストを引き上げながら、外側に回転させる。(B→C)



警告

フットプレート部そのものを前方向へ組換え
ない。【図2-15】

*キャストがロックしてしまい、
転倒・転落のおそれがあります。

<戻す>【図2-14】

- 1) フットレストを内側へ回転させる。(C)
- ※フットレストを引き上げる必要はありません。
- 2) フットレストを下げる。(A)



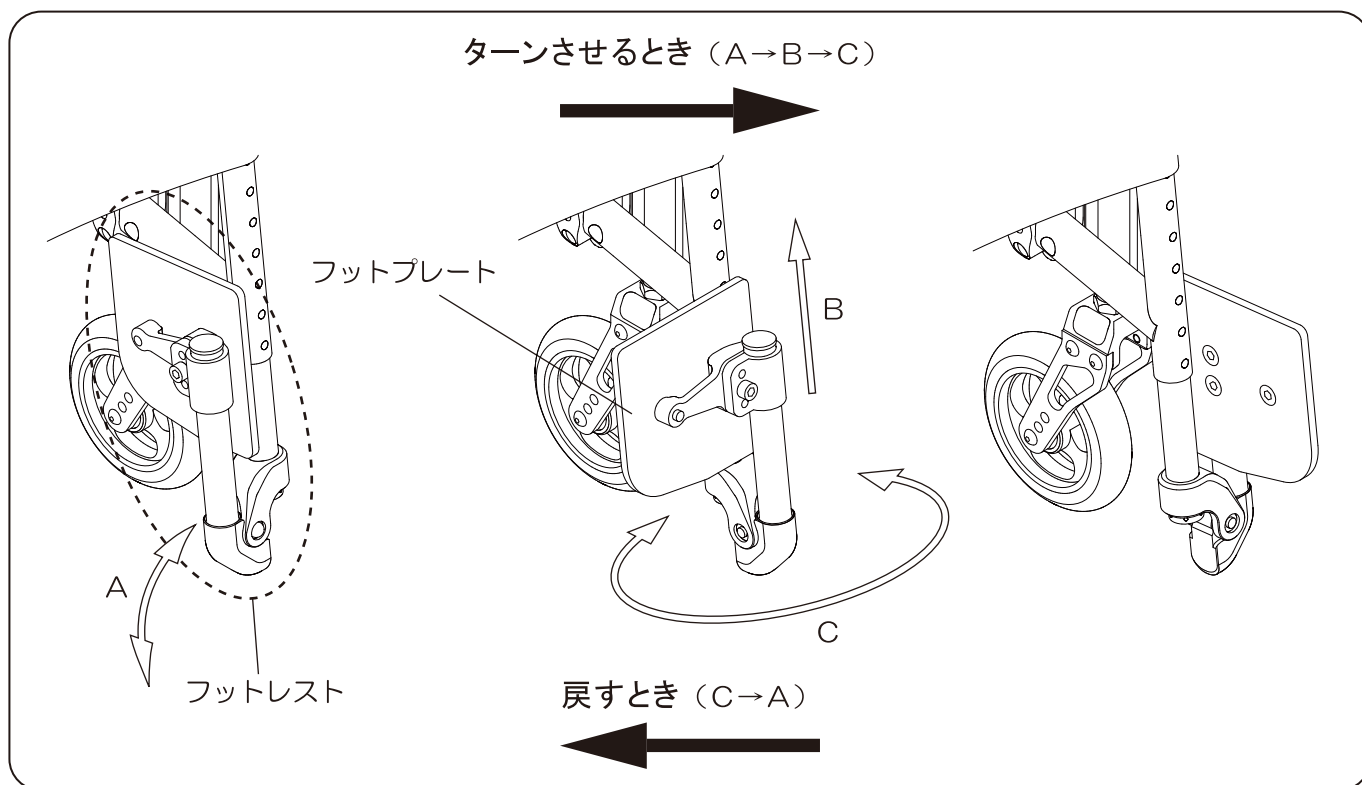
注意

フットレストを外側に
開いたまま走行しない。
【図2-16】

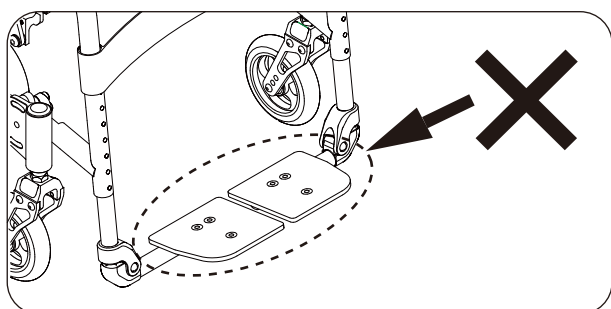
*周りの人や物等と接触し、事
故のおそれがあります。

<フットレストの点検>

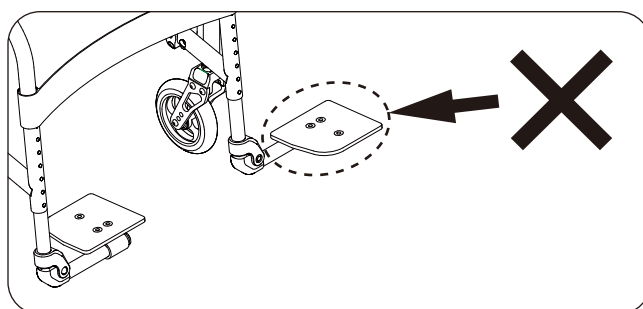
- フットプレートにひび割れはないか。
- ネジ・ボルトの緩みはないか。



【図2-14】



【図2-15】



【図2-16】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

<アウターレザーの着脱(NEO)>【図2-17】

取外し方

アウターレザー前面下部から矢印の方向に面ファスナーをはがして行き後方もそのままはがします。

取付け方

取外しと逆の手順で行います。楕円形のワッペンが車いす後方の上部にくるようにアウターレザーを取付けてください。



【図2-17】アウターレザーや【図2-18】アウターレザー1の内蔵スポンジの弾力が無くなってきたら交換する。
* 背中や腰に褥瘡^{しよくそ}などができ
るおそれがあります。
* スポンジのみの交換はできません。

<アウターレザーの取外し(NEO plus/miniNEO)>【図2-18】

- 1) アウターレザー1の面ファスナーをはがして取外す。
- 2) アウターレザー2の面ファスナーをはがして取外す。

<アウターレザーの取付け(NEO plus/miniNEO)>【図2-18】

アウターレザーの取付け後に、車いすの前後から見てインナーレザーのベルト(P.36)が全て覆い隠されるように取付けてください。

- 1) アウターレザー2をインナーレザーの後側(車いすの真後ろ)に取付ける。
- 2) アウターレザー1をインナーレザー上部にかぶせるように取付ける。(アウターレザー1の楕円形のワッペンが車いすの後方から見えるように取付ける)



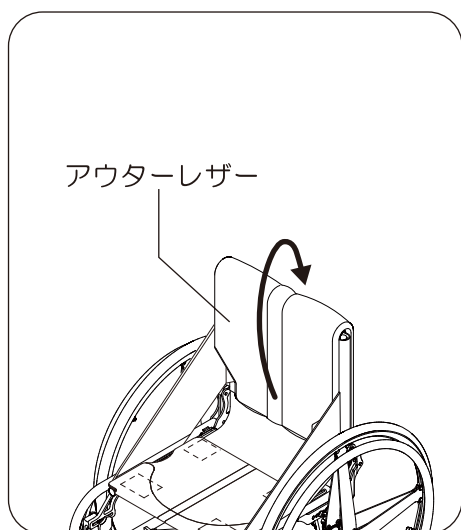
面ファスナーは確実に貼付ける。
* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

<ランバーパッドの交換(NEO plus/miniNEO)>【図2-18】

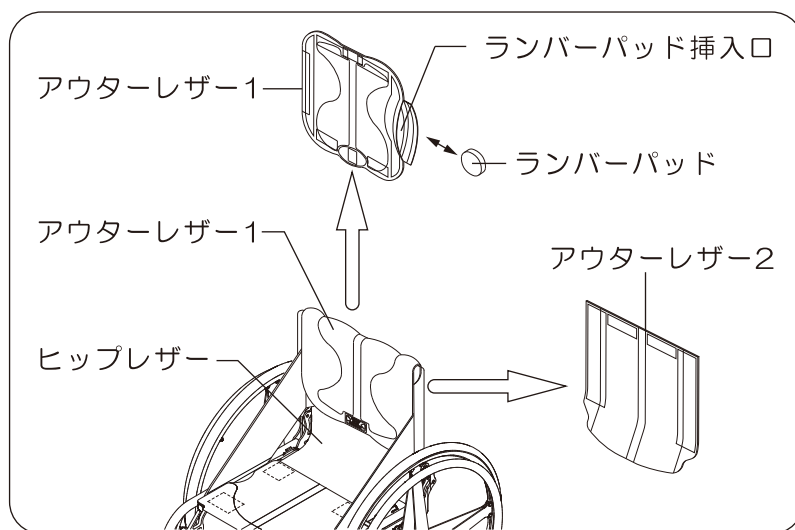
アウターレザー1の両側にあるランバーパッド挿入口の面ファスナーをはがし、交換してください。



面ファスナーに付着した糸くずなどは取除く。
* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。



【図2-17】



【図2-18】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜ヒップレザーの取外し＞【図2-19】

- 1) アウターレザーを取外す。(P.33)
- 2) カバーシートレザーの後方2箇所のみファスナーをはがす。
- 3) ヒップレザーのバックレスト側の面ファスナーをはがす。
- 4) ヒップレザーのシート側の面ファスナーをはがす。

注意

ヒップレザーの張りは乗車姿勢に影響するので正しく調整する。

＜ヒップレザーの取付け＞【図2-19】

ヒップレザーには向きがあります。取付けの際は注意してください。

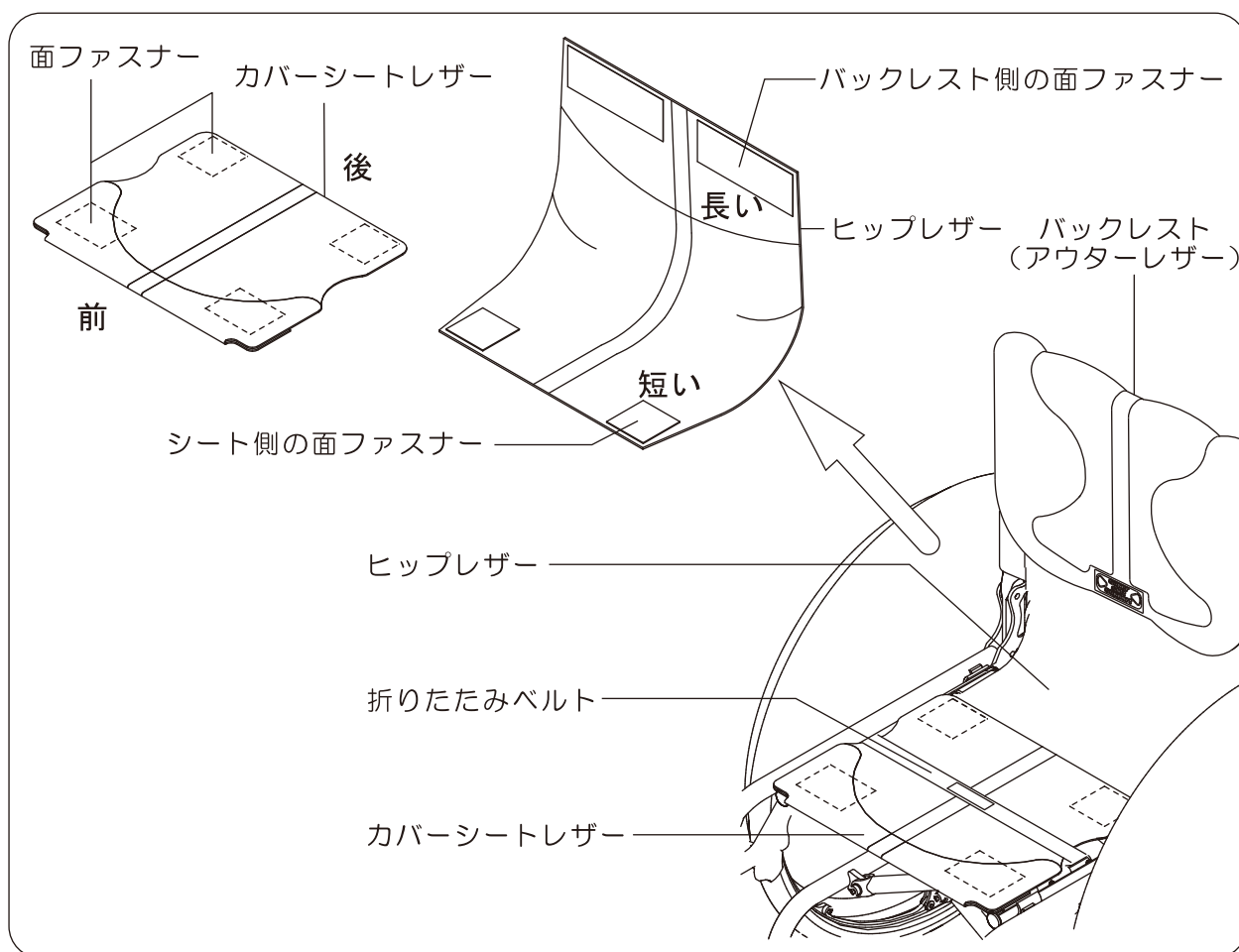
- 1) ヒップレザーのシート側の面ファスナーを貼付ける。
- 2) ヒップレザーを最適な乗車姿勢になるように調整してバックレスト側の面ファスナーを貼付ける。
- 3) カバーシートレザーの面ファスナーを貼付ける。
- 4) アウターレザーを取付ける。(P.33)

注意

面ファスナーは確実に貼付ける。
* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

注意

面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。
* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。



【図2-19】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜サイドレザーの取外し＞【図2-20】

- 1) アウターレザーとヒップレザーを取外す。(P.33・34)
- 2) ベルトの面ファスナーをはがす。
- 3) サイドレザーの面ファスナーをはがす。
- 4) 車いすを少し折りたたんだ状態にする。(P.14)
- 5) 全てのプッシュリベットを取外す。
- 6) サイドレザーからレールを引抜く。

⚠注意

ホイールを回転させて、サイドレザーとタイヤ、スポークが接触しないことを確認する。
* サイドレザーを破損するおそれがあります。

＜サイドレザーの取付け＞【図2-20】

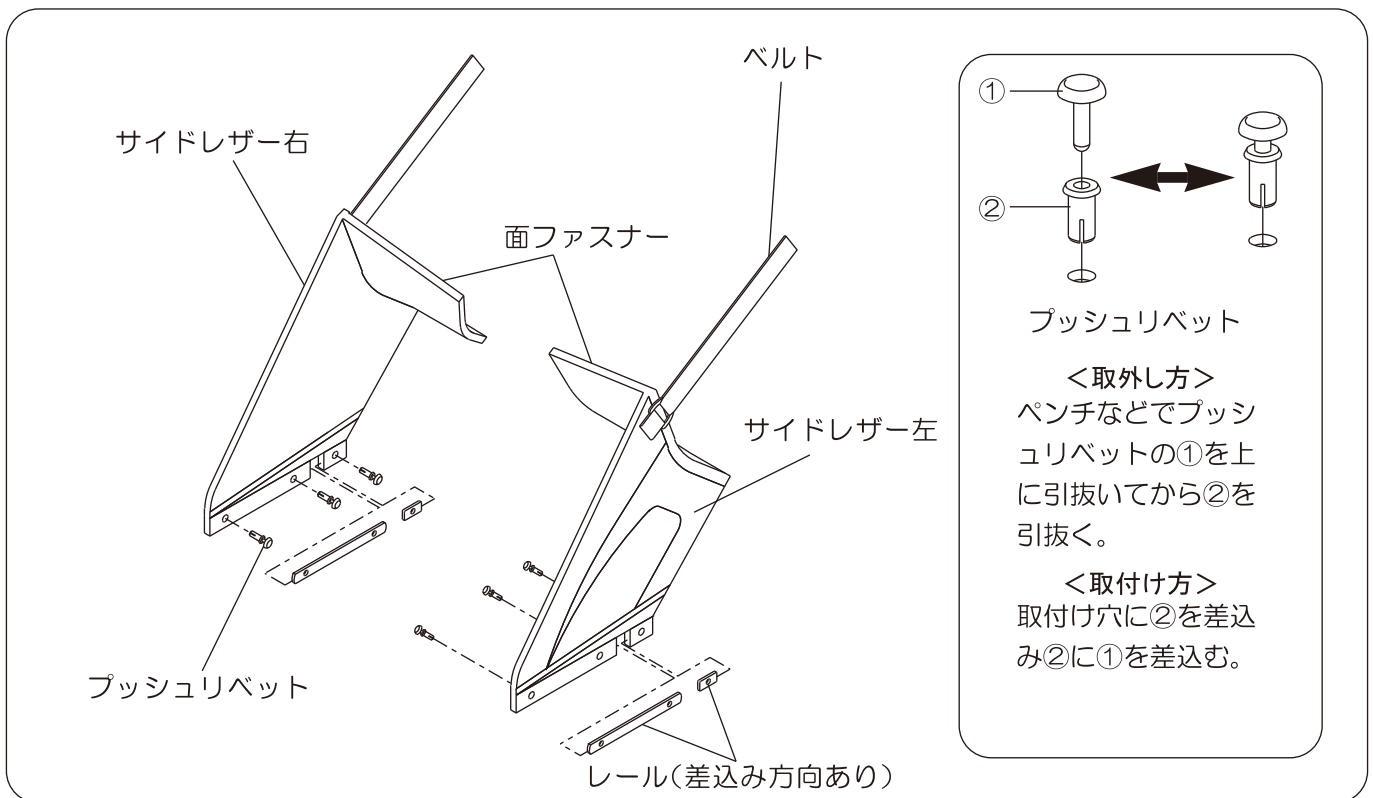
- 1) 車いすを少し折りたたんだ状態にする。(P.14)
- 2) サイドレザーとレールの穴が合うようにレールを差込む。
- 3) 全てのプッシュリベットをサイドレザーの穴に差込み、フレームに取付ける。
- 4) 車いすを開いた状態にする。(P.15)
- 5) サイドレザーを最適な張りにしながら、面ファスナーを貼付ける。
- 6) ベルトを適切な張りや角度にしながら、面ファスナーをバックレスト後部に貼付ける。
- 7) アウターレザーとヒップレザーを取付ける。(P.33・34)

⚠注意

面ファスナーは確実に貼付ける。
* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

⚠注意

面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。
* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

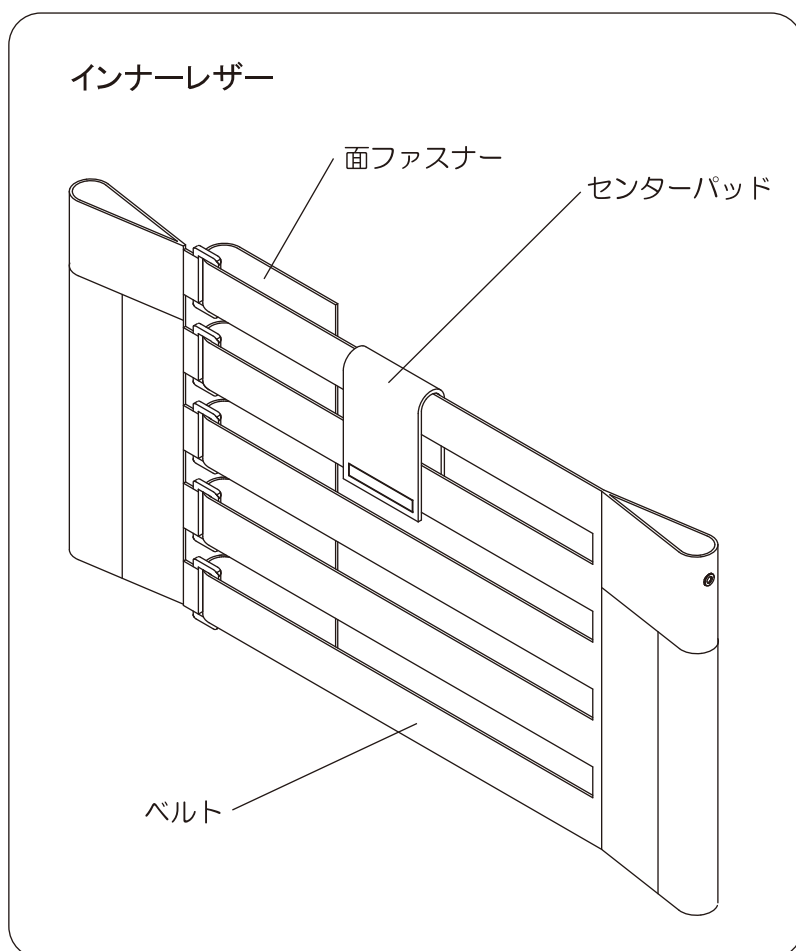


【図2-20】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜インナーレザーの調整＞【図2-21】

- 1) アウターレザーとヒップレザーを取外す。(P.33・34)
- 2) サイドレザーの面ファスナーとベルトをはがす。(P.35)
- 3) インナーレザー上下各部のベルトを最適な張りに調整する。
- 4) センターパッドを背骨が当たる位置に移動する。
- 5) サイドレザーの面ファスナーとベルトを貼付ける。(P.35)
- 6) アウターレザーとヒップレザーを取付ける。(P.33・34)



【図2-21】

⚠注意

面ファスナーは確実に貼付ける。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

⚠注意

面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

⚠注意

インナーレザーの張り調整は「張り過ぎ」「緩め過ぎ」に注意する。

* 車いすが破損するおそれがあります。

* 車いすが開いた状態でしっかりとクロスメンバーがフレームの「受け」に収まっていることを確認してください。(P.15)

バックレスト及びレザー類の調整・点検

<インナーレザーの取外し>【図2-22】

- 1) アームレストを取外す。(P.47)
- 2) アウターレザー(P.33)とコーナパッド(グリップ・介助グリップ未装着車のみ)を取外す。
- 3) ヒップレザーを取外す。(P.32)
- 4) サイドレザーのバックレスト側の面ファスナーとベルトをはがす。(P.35)
- 5) 左右の取付けネジを取外す。
- 6) インナーレザーを上へ引抜く。
※グリップ・介助グリップ装着車の場合は<バックレスト高の調整>(P.38)を参照し、グリップ・介助グリップを引抜いた後、インナーレザーを上へ引抜く。

注意

面ファスナーは確実に貼付ける。
* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

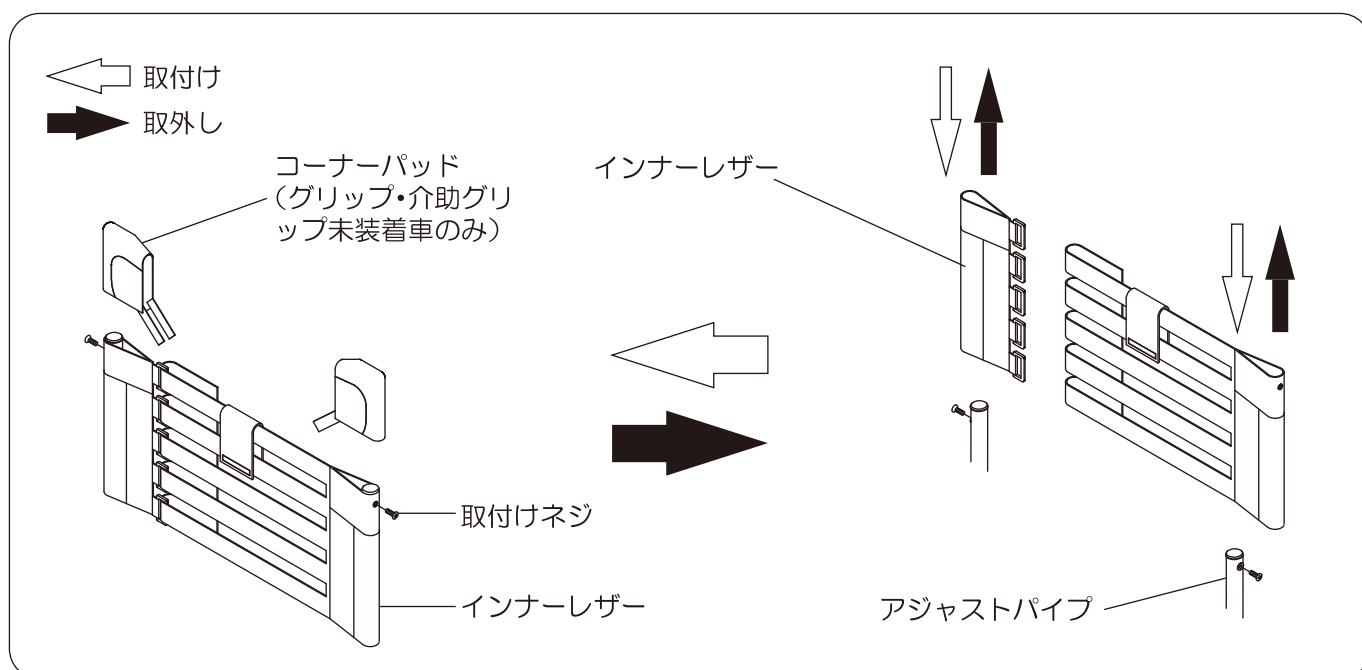
注意

面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。
* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

<インナーレザーの取付け>【図2-22】

- 1) バックレストにインナーレザーを差込む。
※グリップ・介助グリップ装着車の場合は、グリップ・介助グリップを差込む。
- 2) インナーレザーの左右を取付けネジでアジャストパイプに固定する。
- 3) <インナーレザーの調整>(P.36)を行う。
- 4) サイドレザー(P.35)とヒップレザー(P.34)を取付ける。
- 5) コーナパッド(グリップ・介助グリップ未装着車のみ)を取付け、アウターレザー(P.33)を取付ける。
- 6) アームレストを取付ける。(P.47)

取付けネジ締付けトルク 4N・m(0.4kgf・m)



【図2-22】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜バックレスト高の調整＞【図2-23】

オプションの「グリップ・介助グリップ」の付いたバックレストも同様の調整方法です。

- 1) アームレストを取外す。(P.47)
- 2) アウターレザーを取外す。(P.33)
- 3) インナーレザーのフラップの面ファスナーをはがす。
- 4) ③ネジを外して、インナーレザーを押し下げ、①ネジ、②ナット、ワッシャーを露出させる。
- 5) ①ネジ、②ナット、ワッシャーを外す。
- 6) アジャストパイプをスライドさせて最適な高さに調節する。
- 7) ①ネジを固定穴と調節穴に通し、②ナット、ワッシャーで締付ける。
- 8) 反対側も同様に同じ高さに調節する。
- 9) ③ネジを取付ける。
- 10) インナーレザーのフラップの面ファスナーを貼付ける。(P.33)
- 11) アームレストを取付ける。(P.47)

注意

左右のバックレスト高は必ず同じにする。

* 車いすが破損するおそれがあります。

* アジャストパイプの調節穴の位置を左右で合わせてください。

注意

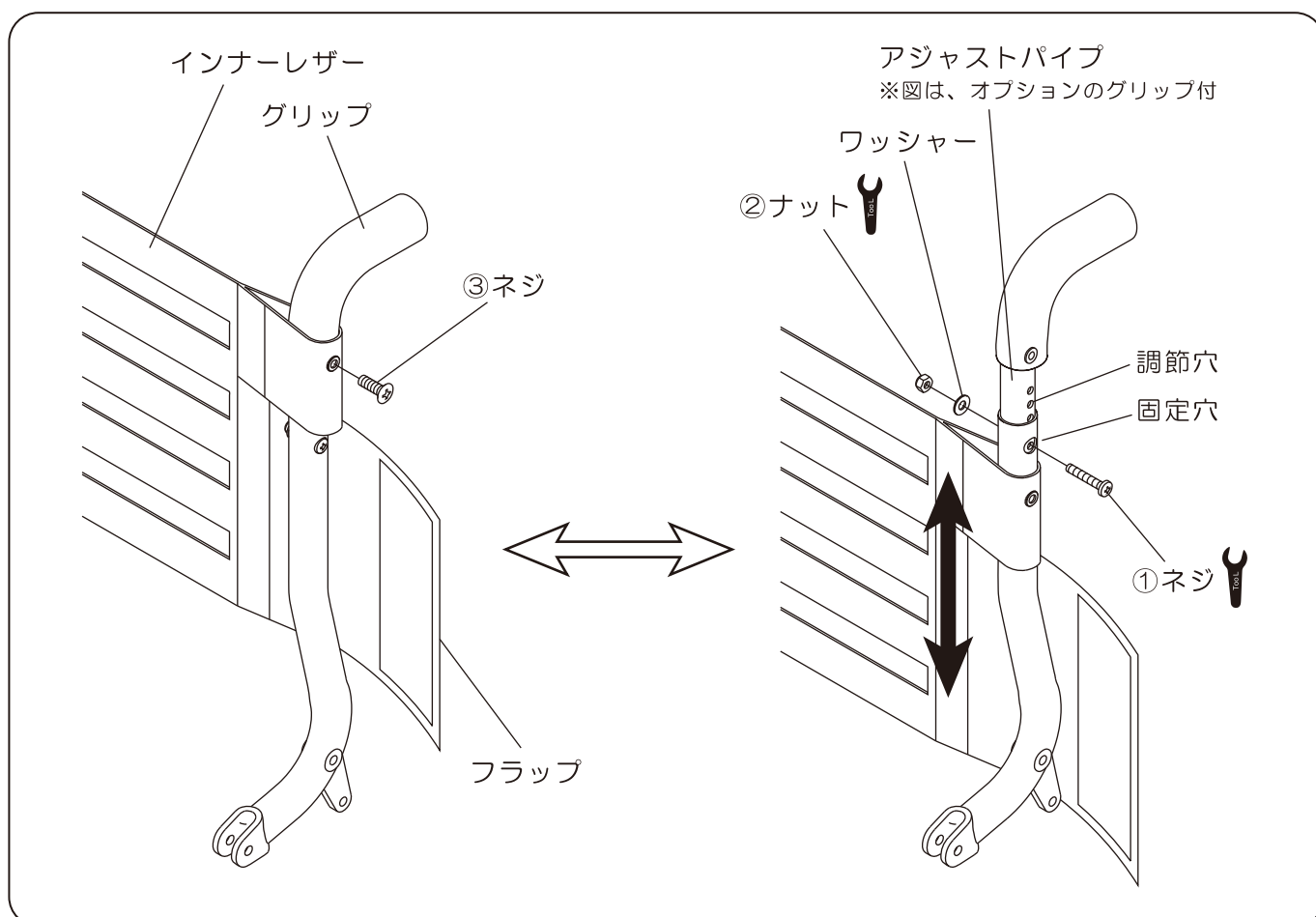
フラップの面ファスナーは確実に貼付ける。

* インナーレザーが破損するおそれがあります。

* ベルトの張りが適切にならず、はくずれ褥瘡などができるおそれがあります。

①ネジ締付けトルク 6N・m(0.6kgf・m)

③ネジ締付けトルク 4N・m(0.4kgf・m)



【図2-23】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜シートレザーの張り調整＞【図2-24】

- 1) カバーシートレザーを取外す。
- 2) ベルト(シートレザー)下側の面ファスナーで、前後各部のベルトと折りたたみベルトの張りを調整する。

※miniNEOのクッションサポートベルトは、図のようにバックレストプレート（内側）に通してクッションがずり落ちないように調整してください。

- 3) シートパイプが「受け」にしっかりと乗っていることを確認する。
(P.15)

※シートパイプが浮いていると、クロスメンバーの破損につながります。
必ずシートパイプは「受け」に乗せてください。

- 4) ヒップレザーのシート側の面ファスナーをはがし、ベルト(シートレザー)の張りに合わせて貼りなおす。

- 5) カバーシートレザーを折りたたみベルトの下を通して取付ける。

⚠注意

シートレザーの張り調整は「張り過ぎ」「緩め過ぎ」に注意する。

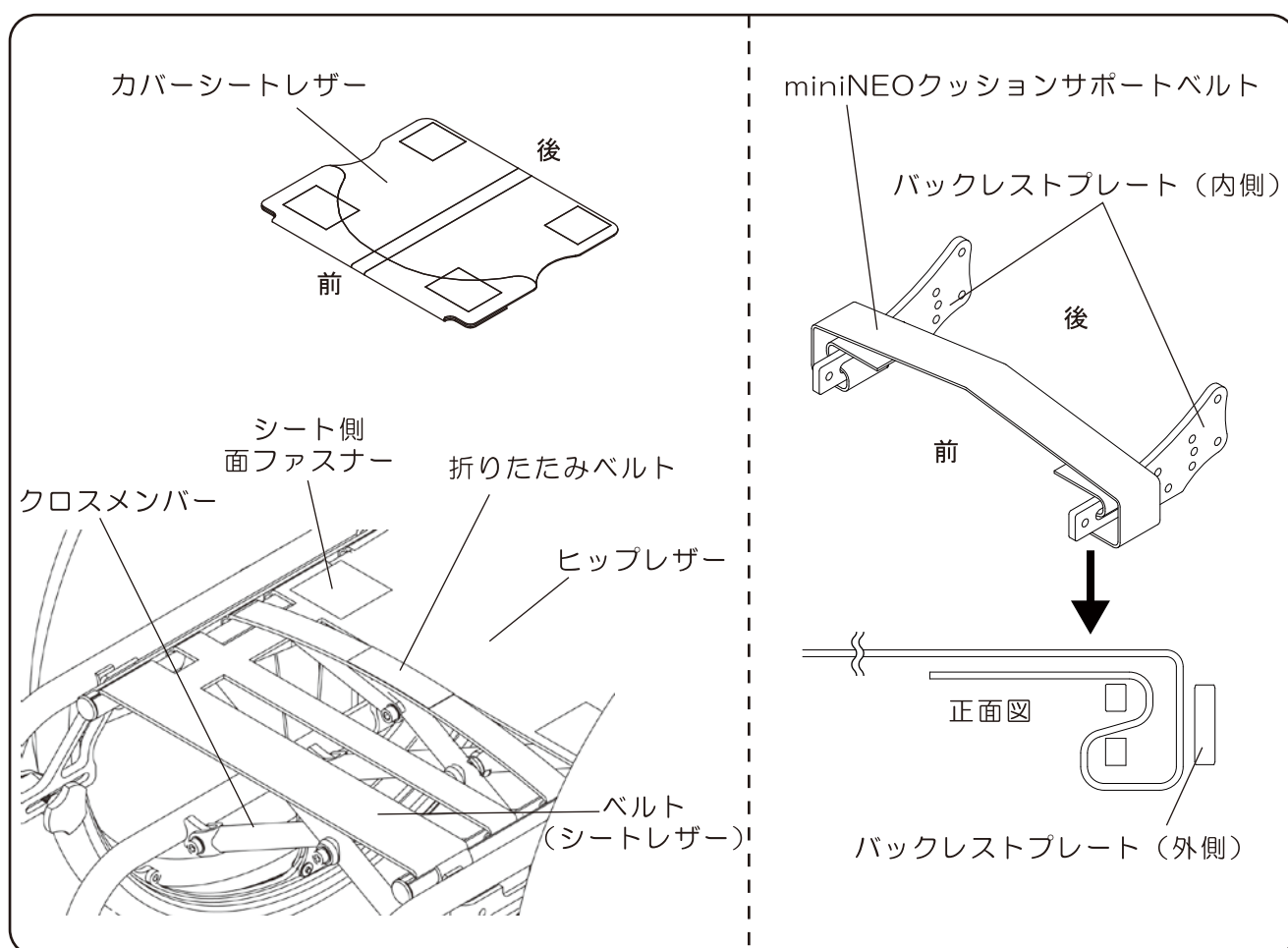
* 車いすが破損するおそれがあります。

* フレームなど硬い部分しよくさうが身体に接触し、褥瘡じよくさうなどができるおそれがあります。

* 車いすが開いた状態でしっかりとクロスメンバーがフレームの「受け」に収まっていることを確認してください。(P.15)

＜レザーの点検＞

乗車前に必ず、自分の状態に最適な張り調整になっているか点検してください。



【図2-24】

車軸位置の調整・点検

<前後調節穴の変更>【図2-25】

車軸位置の調節可能範囲は、ご使用の車いす、装備されているブレーキの調整範囲、ホイールサイズ、アクスルブラケットにより異なります。

- 1) ブレーキを解除する。(P.17)
- 2) 車軸を前方へ調整する時は、あらかじめブレーキ位置を前方へ移動する。(P.18~19)
- 3) ホイールを外す。(P.16)
- 4) フレーム内側の①ナットと②ワッシャーを外す。
- 5) フレーム外側から③ボルトと④ナットを抜く。(キャンバー付きの場合、④ナットはありません。)
- 6) アクスルブラケット前後調節穴の最適な位置に、③ボルトをフレーム外側から取り付ける。
- 7) 「キャンバー無し」の場合は④ナットをナットガイドに合わせる。
- 8) フレーム内側から②ワッシャーを入れる。
- 9) ③ボルトの突出しをP.42又はP.43の「ホイール取付け間隔の調整」に従い調整する。
- 10) 必要に応じてキャスト角を調整する。(P.45)

- ①ナット締付けトルク 60N・m(6.0kgf・m)
- ①ナット締付けトルク(介助ブレーキ付き) 40N・m(4.0kgf・m)

警告

フレーム外側の④ナットは確実にナットガイドに合わせる。
* ③ボルトが抜け、転倒・転落のおそれがあります。

警告

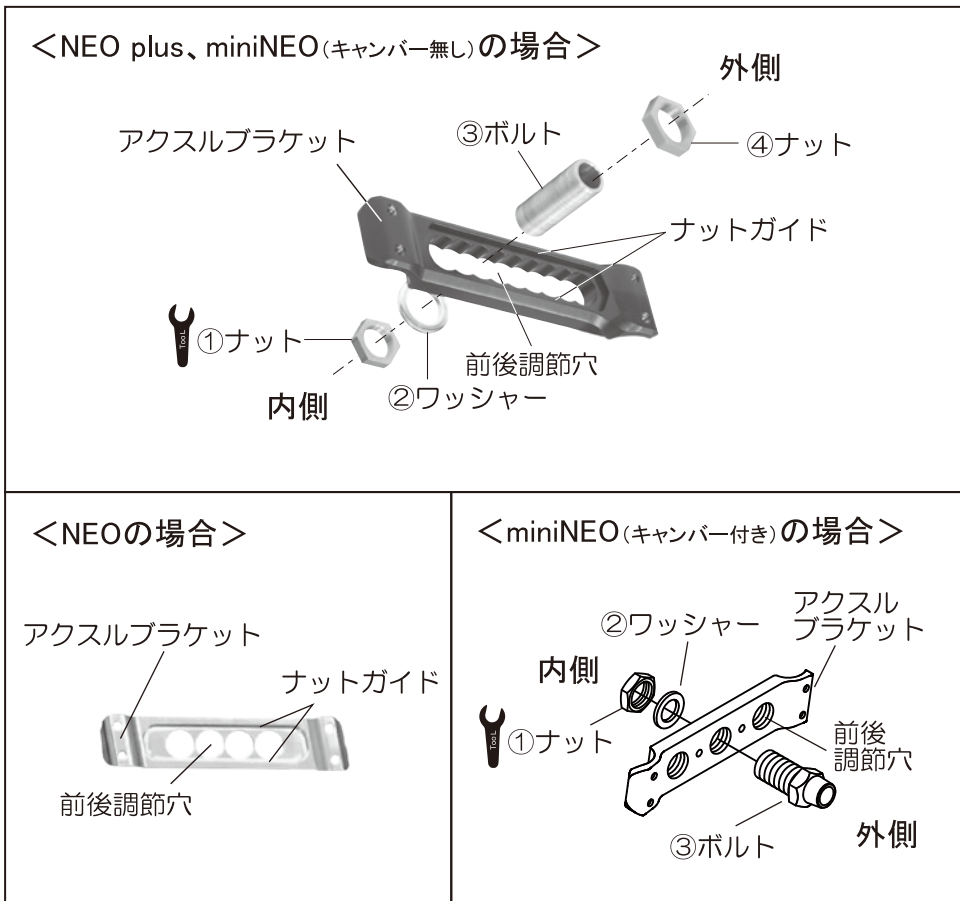
「車軸位置の調整」を行ったときは、必ずアームレストとタイヤが接触していないか確認する。
* ホイールが外れたり車いすが破損し転倒・転落のおそれがあります。

警告

「車軸位置の調整」を行ったときは、必ずブレーキが確実にかかるか確認する。
* 転倒・転落のおそれがあります。

警告

車軸を前方へ移動する調整を行った際は、十分注意して車いすに乗車する。
* 後方へ転倒するおそれがあります。
* 調整後初めて乗るときは、ゆっくりと乗車してください。



【図2-25】

車軸位置の調整・点検

＜後座高の調節(アクスルブラケットの上下移動)＞【図2-26】

※ 後座高の調整は身体状況を考慮して、適切に行ってください。

- 1) ホイールを外す。(P.16)
- 2) フレーム内側から固定ボルトとセットプレートを外す。
- 3) アクスルブラケットを最適な位置に移動させる。
- 4) アクスルブラケットの取付ける向き【図2-26】に注意して、フレーム内側からセットプレートと固定ボルトで仮固定する。
- 5) 4本の固定ボルトを均等に締め、アクスルブラケット、セットプレートを固定する。
- 6) 反対側も同様に同じ位置にする。
- 7) ホイールを付けてブレーキを調整する。(P.16) (P.18~19)
- 8) キャスター角を調整する。(P.45)
- 9) 必要に応じて＜バックレストの角度調節＞を行う。(P.20~22)

警告

アクスルブラケットの移動を行なう際は、下肢により体を支えられない方は、必ずシート部の前端より後端が低くなるように調整する。
* 前方へずり落ち転倒・転落のおそれがあります。

警告

「車軸位置の調整」を行ったときは、必ずアームレストとタイヤが接触していないか確認する。
* ホイールが外れたり車いすが破損し転倒・転落のおそれがあります。

警告

「車軸位置の調整」を行ったときは、必ずブレーキが確実にかかるか確認する。
* 転倒・転落のおそれがあります。

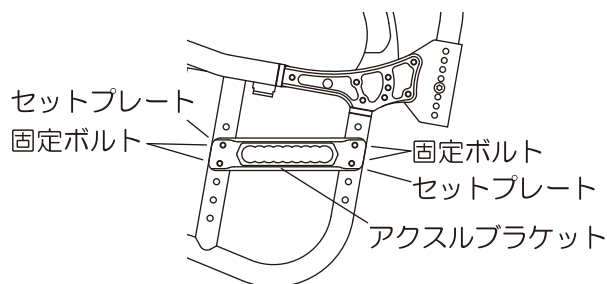
警告

【図2-26】のアクスルブラケットの取付け方向を必ず守る。
* ホイールが外れたり車いすが破損し転倒・転落のおそれがあります。

固定ボルト締め付けトルク 10N・m(1.0kgf・m)

アクスルブラケットの取付け方向 ※フレーム外側から見て

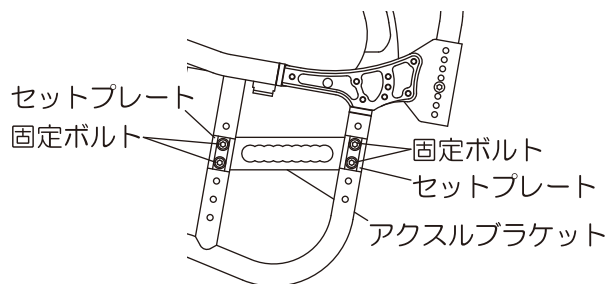
[正常]



必ずこの状態で取付ける。

▲ 次のような取付け方法は絶対にしないこと。

[表裏逆]



【図2-26】

車軸位置の調整・点検

<ト一寸法の修正 (miniNEOキャンバー付きのみ) > 【図2-27】

左右のタイヤ前部、後部の全幅寸法を同一の高さで測定し、【図2-27】のAとBが同一寸法になるようにアクスルボルトを回転させて調整します。

- 1) 左右のナットを緩める。
- 2) 左右のアクスルボルトを回転させ、ト一寸法を0mm (A=B) にする。
- 3) 左右のナットを締める。

ナット締付けトルク 60N・m(6.0kgf・m)

<ホイール取付け間隔の調整 (miniNEOキャンバー付きのみ) >

【図2-27】

ホイール取付間隔は、調整規定に従って調整してください。

- 1) ホイールを外す。(P.16)
- 2) ナットを緩める。
- 3) 調整規定に従い、アクスルボルトを回し最適なホイール取付け間隔にする。
- 4) ナットを締める。
- 5) ホイールを付ける。(P.16)
- 6) ホイール、タイヤがサイドレザーやフレームなどの他の部品に接触していないか確認する。
- 7) ブレーキを確実にかけられるか確認する。
- 8) 左右同様にする。

ナット締付けトルク 60N・m(6.0kgf・m)



警告

ナットは確実に締付ける。
*アクスルボルトが抜け、転倒・転落のおそれがあります。



警告

ボルトの調整は必ず調整規定に従って調整する。

*ホイールが外れたり車いすが破損し転倒・転落のおそれがあります。また、事故や車いすを破損するおそれがあります。



警告

調整後は、必ずブレーキが確実にかかるか確認する。

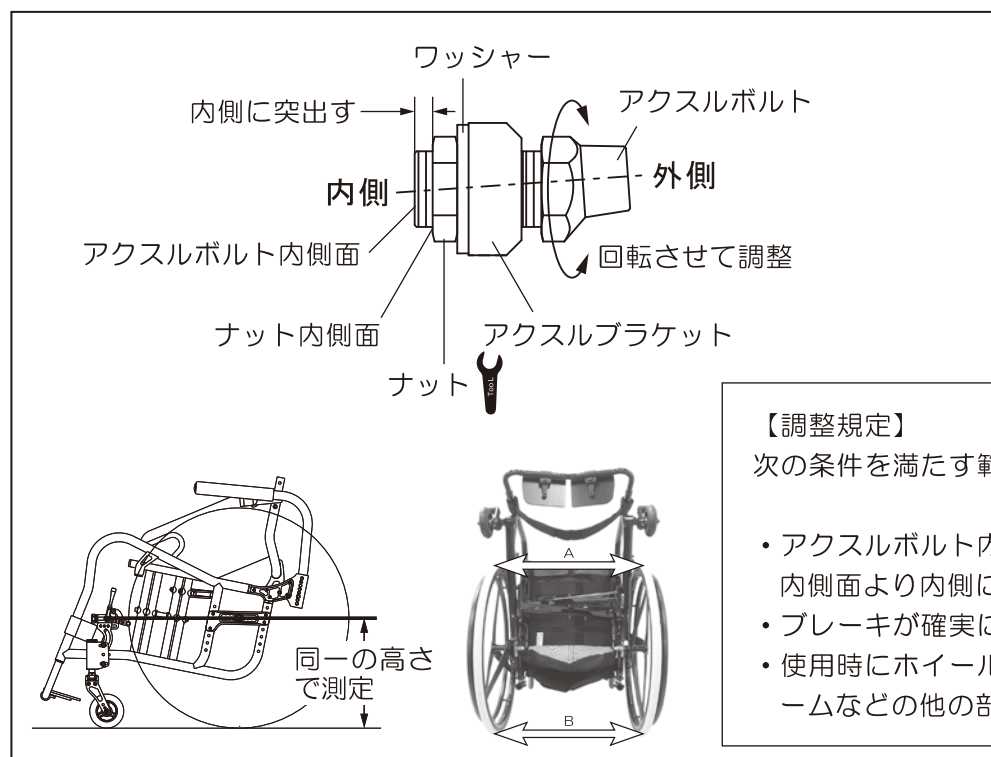
*転倒・転落のおそれがあります。



警告

調整後は、ホイール・タイヤが他の部品に接触していないか確認する。

*車いすが破損します。転倒・転落のおそれがあります。



【調整規定】

次の条件を満たす範囲で調整してください。

- アクスルボルト内側面の突出しは、ナット内側面より内側に調整する。
- ブレーキが確実にかけられる。
- 使用時にホイールとタイヤがレザーやフレームなどの他の部品に接触しない。

【図2-27】

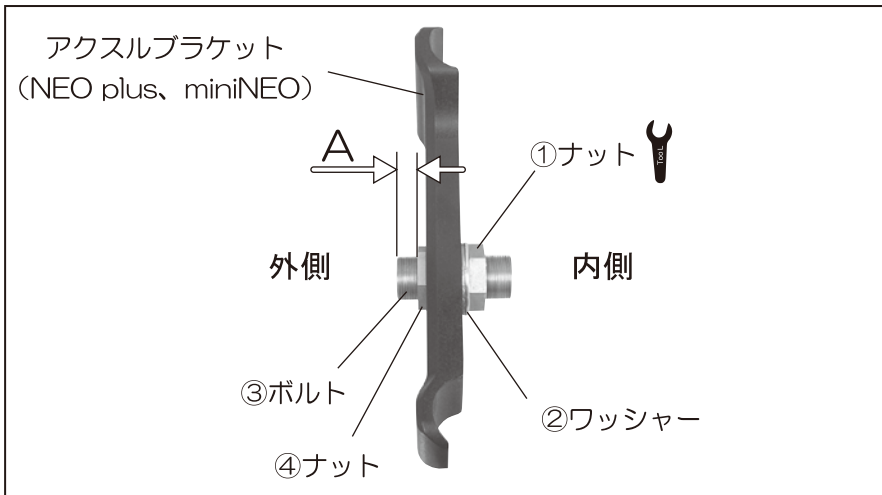
車軸位置の調整・点検

＜ホイール取付け間隔の調整＞ ※キャンバー付き、介助ブレーキ付きを除く
 【図2-28】 【図2-29】

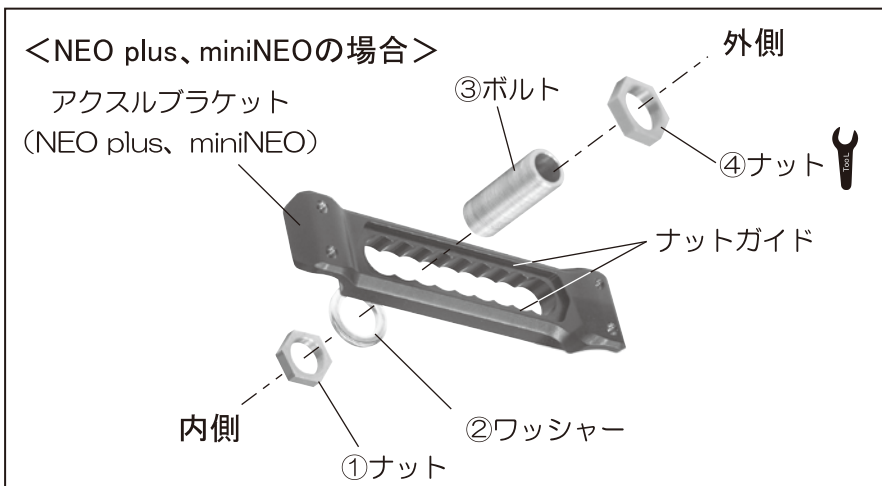
※NEO、NEO plus、miniNEOとも、調節方法は同じです。
 アクスルブラケット外側(フレーム外側)④ナットからの「A」の突出し量は、必ず6～12mmの範囲内で調整してください。

- 1) ホイールを外す。(P.16)
- 2) ①ナットを緩める。
- 3) ③ボルトを回し最適なホイール取付け間隔(A)にする。
- 4) アクスルブラケット外側(フレーム外側)の④ナットをナットガイドに合わせる。
- 5) ①ナットを締める。
- 6) ホイールを付ける。(P.16)
- 7) ホイール、タイヤが他の部品に接触していないか確認する。
- 8) ブレーキを確実にかけられるか確認する。
- 9) 左右同様にする。

①ナット締付けトルク 60N・m(6.0kgf・m)



【図2-28】



【図2-29】



警告

内側の①ナットは確実に締付ける。
 * ③ボルトが抜け、転倒・転落のおそれがあります。

警告

④ナットは確実にナットガイドに合わせる。
 * ③ボルトが抜け、転倒・転落のおそれがあります。

警告

③ボルトの突き出し量「A」は必ず規定範囲内で調整する。
 * ホイールが外れ、転倒・転落のおそれがあります。

警告

調整後は、必ずブレーキが確実にかかるか確認する。
 * 転倒・転落のおそれがあります。

警告

調整後は、ホイール、タイヤが他の部品に接触していないか確認する。
 * 車いすが破損します。

キャスター(前座高)の調整・点検

＜前座高の調節＞【図2-30】【図2-31】

キャスターフォークの調節穴を使用して調節します。

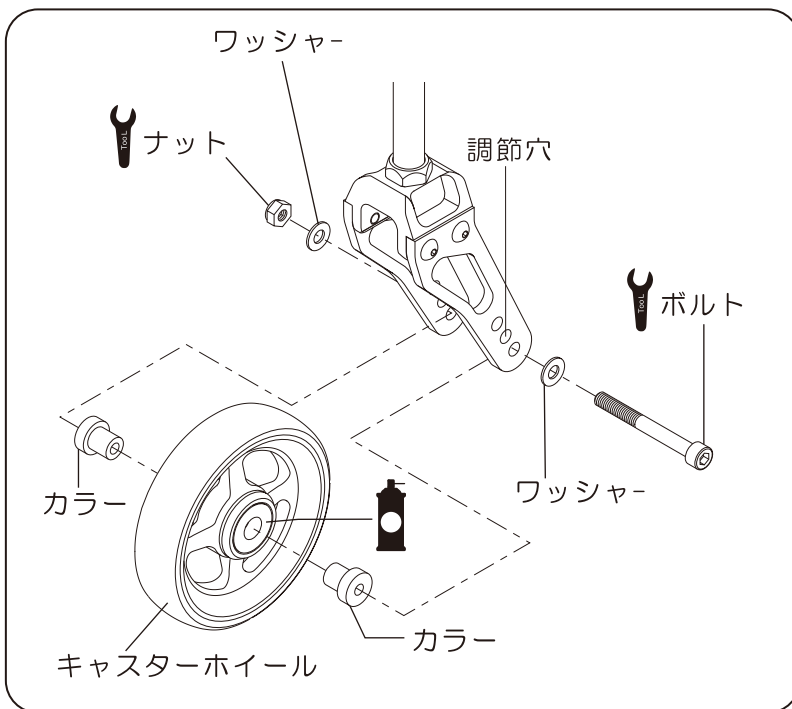
注意:キャスターフォークにSFR2(P.50)を使用している場合、下記のキャスターホイールは部品干渉が発生するおそれがありますので、調節することができません。【図2-31】

出荷時の位置にてご使用ください。

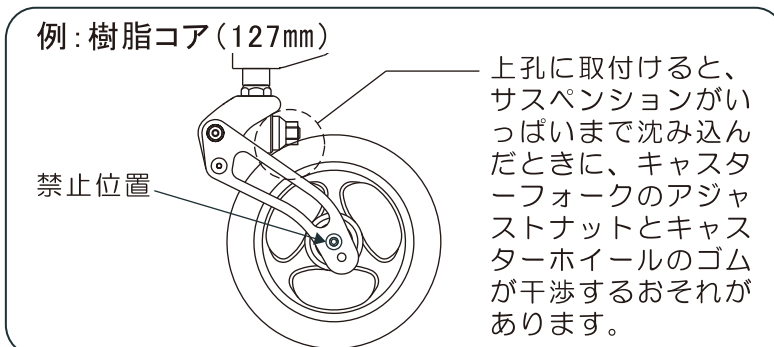
キャスターホイール:樹脂コア(127mm)・LPC4(125mm)

- 1) ボルト、ワッシャー、ナットを外す。
- 2) キャスターホイールの左右にカラーが組み込まれた状態で最適な調節穴に合わせる。
- 3) ボルト、ワッシャー、ナットを締付ける。
- 4) 左右同じ調節穴になるように調節する。
- 5) キャスター角を調整する。(P.45)

ボルト締付けトルク 10N・m(1.0kgf・m)



【図2-30】



【図2-31】



警告

必ず左右同じ高さの調節穴を使用する。

* 車いすが不安定になり転倒・転落のおそれがあります。また、車いすが破損します。



警告

【図2-31】の取付け方はしない。

* キャスターフォークとキャスターホイールが干渉し、転倒・転落のおそれがあります。また、車いすが破損します。



警告

キャスターホルダーは、必ず地面に対して垂直にする。

* 車いすが破損して、事故や転倒・転落のおそれがあります。

キャスターの調整・点検

＜キャスター角の調整＞【図2-32】【図2-33】【図2-34】

- 1) ボルトを緩める。
- 2) 市販のゲージを当てながらキャスターホルダーを垂直にする。
- 3) フレーム内側の突き出し量「A」が規定範囲内（下記＜トレッドの調整＞参照）であることを確認する。
- 4) ボルトを締める。
- 5) 左右同様に調整する。



警告

ボルトは必ず規定トルクで締める。

*キャスターが回転・破損して事故や転倒・転落のおそれがあります。



警告

「A」の突き出し量は必ず0～5mm以内にする。

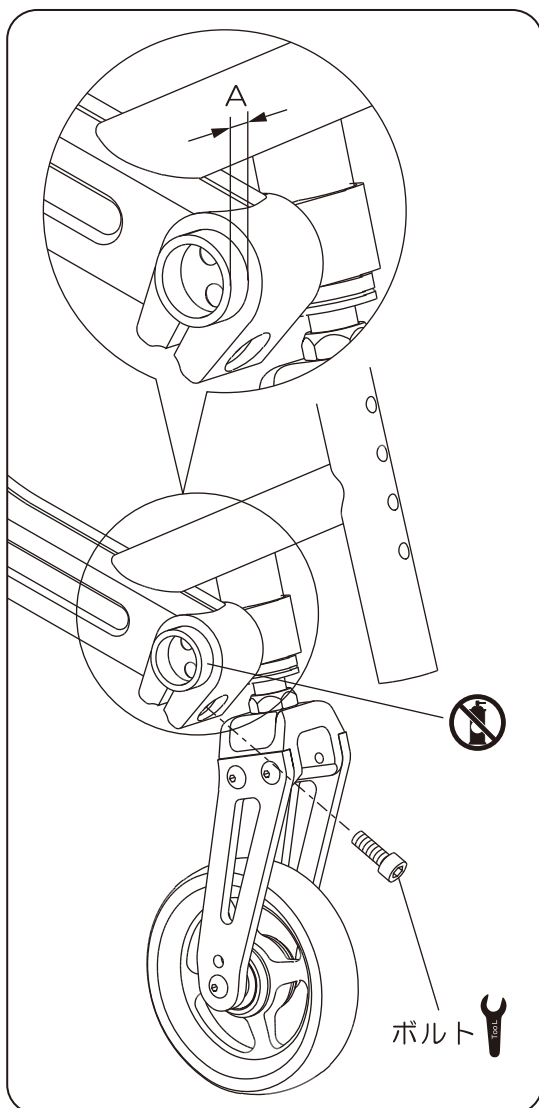
*キャスターが抜け転倒・転落のおそれがあります。

＜トレッドの調整＞【図2-32】【図2-33】

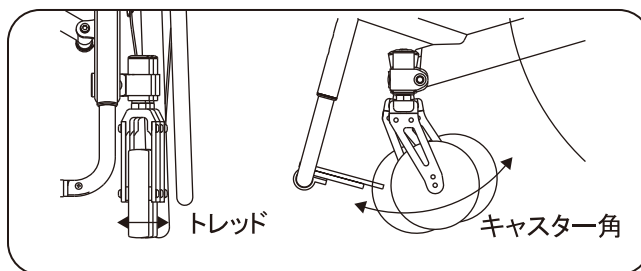
上記＜キャスター角の調整＞同様にボルトを緩め、キャスターのトレッドを調整してボルトを締めます。この時フレーム内側の「A」の突き出し量は、必ず0～5mm以内で調整してください。

調整後は必ず上記＜キャスター角の調整＞を行ってください。

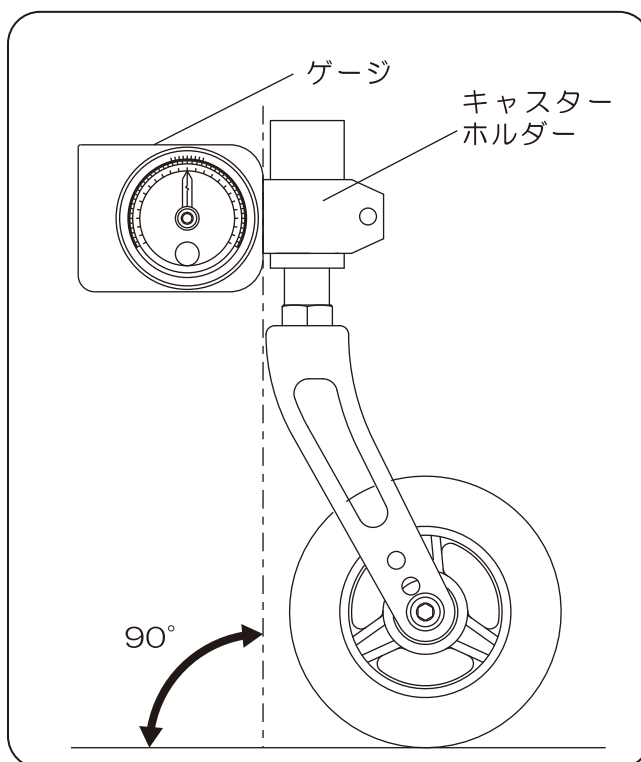
ボルト締付けトルク 25N・m(2.5kgf・m)



【図2-33】



【図2-32】



【図2-34】

キャストの調整・点検

＜ハイトの調整＞【図2-35】【図2-36】

主に車軸位置やホイール、キャストホイール径の変更による前後差（前座高と後座高の差）の変化を修正するために行います。

- 1) ボルトを緩める。
- 2) aを下にさげる。
- 3) aの溝からCリングを外す。
- 4) 6箇所の溝の中から最適な高さになる溝にCリングをはめる。
- 5) bの下側の段付き面にCリングが当たるまでaを下から差込む。
- 6) ボルトを締める。
- 7) 反対側も同じ高さになるように調節する。
- 8) キャスター角の調整をする。(P.45)



警告
ボルトは必ず規定トルクで締める。
*キャストが脱落・破損して事故や転倒・転落のおそれがあります。



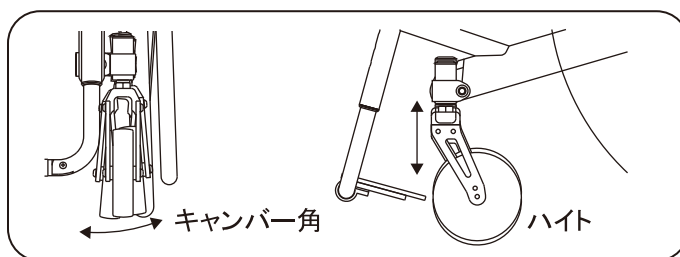
警告
必ず段付き面にCリングが当たるまで「a」を差込む。
*キャストが脱落・破損して事故や転倒・転落のおそれがあります。

＜キャンバー角の調整＞【図2-35】

通常は必要ありません。調整が必要な場合は、販売店にご依頼ください。

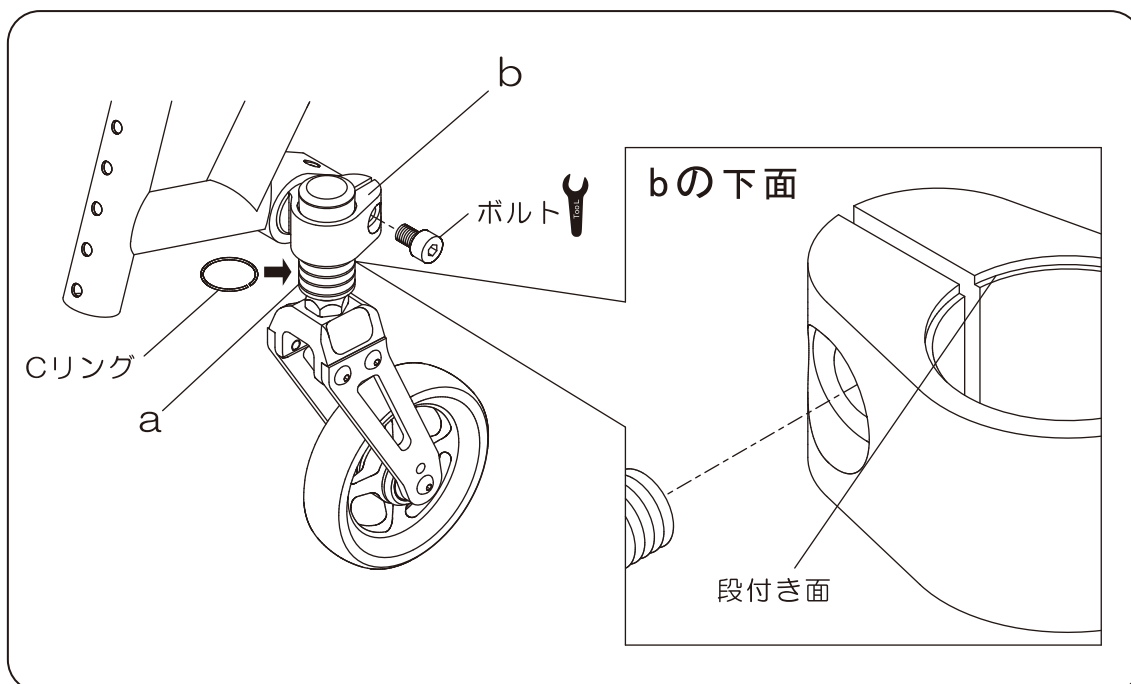
＜キャストの点検＞

- ボルトの緩みはないか。
- 曲がり、破損、異音、回転不良はないか。
- ゴムは十分に残っているか。



【図2-35】

ボルト締付けトルク 10N・m(1.0kgf・m)



【図2-36】

アームレストの調整・点検

<固定式の調節>【図2-37】

- 1) ボルト、ナット、ワッシャー、スペーサーを外す。
- 2) 最適な位置の調節穴に固定穴を合わせる。
- 3) ボルト、ナット、ワッシャー、スペーサーで締付ける。
※このときスペーサーがアームレストホルダーの調節穴(大)に収まるように締付けます。
- 4) 反対側も同様に調節する。

警告

ボルトを締付ける際は図の順序で組付ける。
*アームレストが確実に固定されず事故のおそれがあります。

<着脱式の調節>【図2-38】

- 1) 取付けボルト、フランジカラー、ナット、ワッシャーを外す。
- 2) アームレストをアームレストホルダーから抜く。
- 3) 先程外したフランジカラーに取付けボルトを図のように通す。
- 4) 最適な位置の調節穴にフランジカラーと取付けボルトを通してワッシャー、ナットで締付ける。
※締め過ぎるとアームレストがささらなくなってしまうので注意してください。
- 5) アームレストホルダーにアームレストを差込む。
- 6) アームレストの固定溝にしっかりと取付けボルトが入っていることを確認する。

警告

固定式アームレストのボルトはスペーサーを調節穴(大)に収めてから締付ける。
*アームレストが確実に固定されず事故のおそれがあります。
*ボルトとアームレストパイプにスペーサーをはさみこむように締付けます。

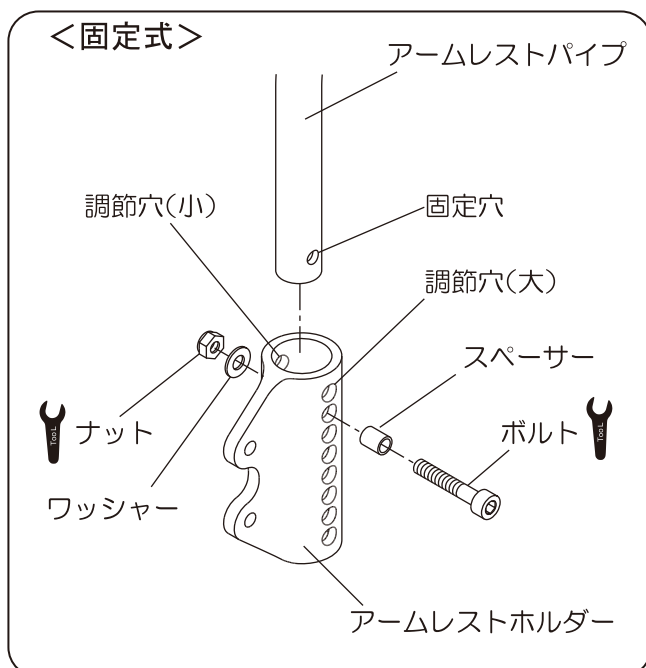
<アームレストの点検>

極端に大きなガタつきやネジ・ボルトの緩みがないか点検してください。

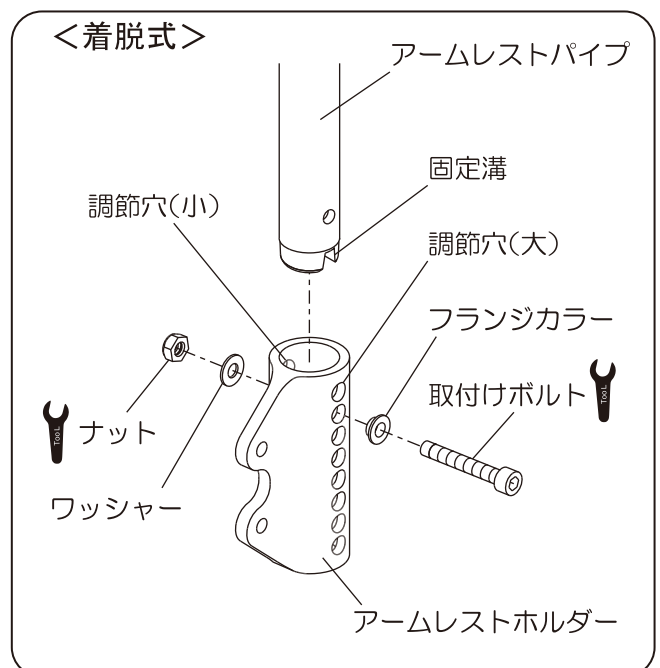
警告

アームレストとタイヤが接触していないことを確認する。
*アームレストやタイヤを損傷させるおそれがあります。

ボルト締付けトルク 10N・m(1.0kgf・m)
取付けボルト締付けトルク 10N・m(1.0kgf・m)



【図2-37】



【図2-38】

miniNEOの調整

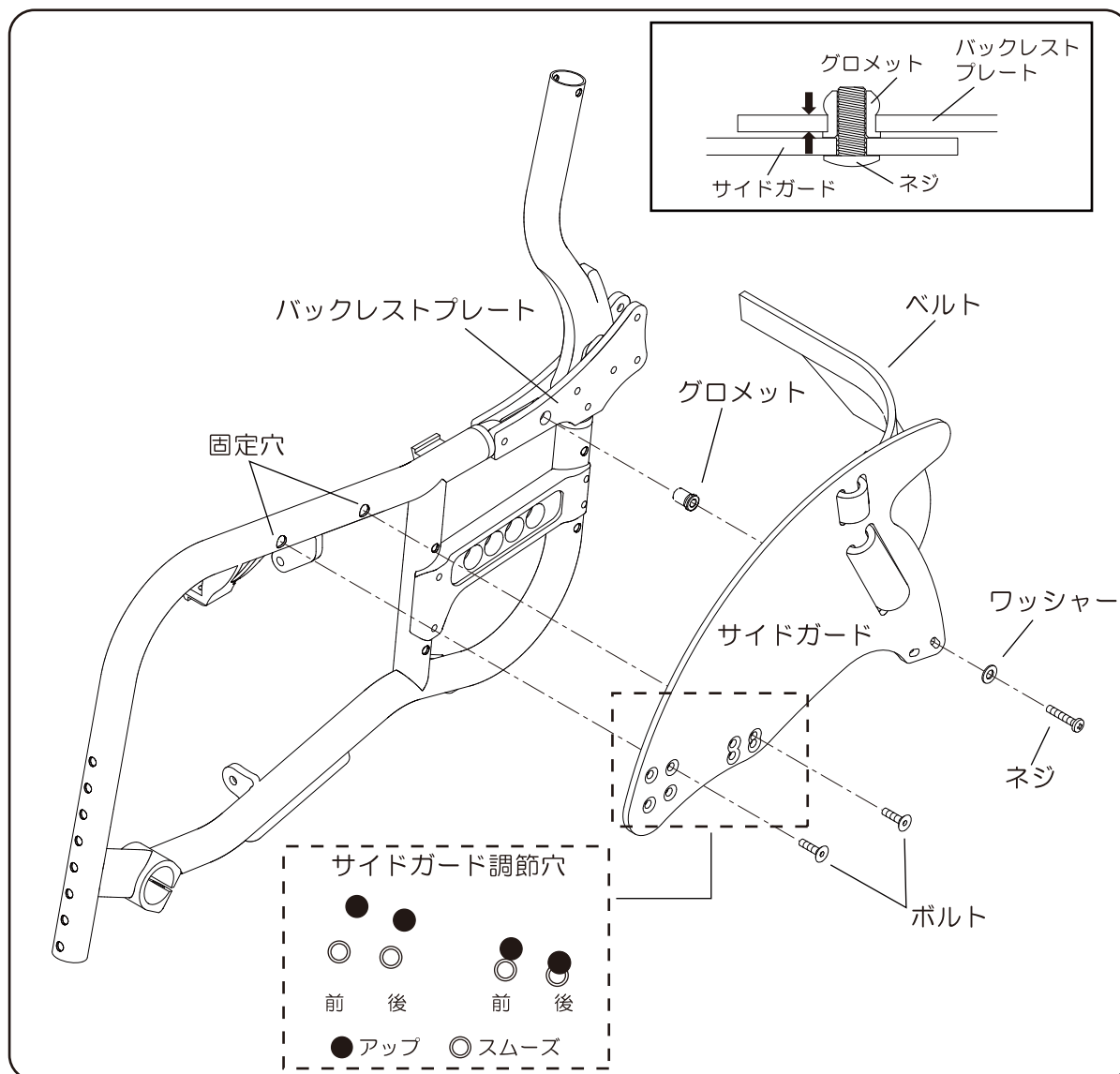
＜車軸位置変更時のサイドガードの調整＞【図2-39】

- 1) ボルト、ネジ、ワッシャー、グロメットを取外す。
- 2) ベルトの面ファスナーをはがす。
- 3) サイドガードを最適な位置(前後)に移動する。
※フレームタイプ（アップ/スムーズ）により、使用する調整穴が異なります。図を参照して取付け位置を確認してください。
- 4) ボルト、ネジ、ワッシャー、グロメットを使用し固定する。後部のネジはグロメット（ゴム）が膨らむまで締付けてください。
※グロメットは、図のようにゴムが膨らむことにより締結するため、ネジを回し続けると、ゴムがちぎれたり、サイドガードが破損するまで回り続けてしまいます。ゴムが膨らみ、ガタつかなくなった位置でネジを締付けるのを止めてください。
- 5) ベルトの張りを調整する。
- 6) フェンダー装着車はタイヤとフェンダーが干渉しないか確認する。

⚠注意

ホイールを回転させて、サイドガードとタイヤ、スポークが接触しないことを確認する。
* サイドガードを破損するおそれがあります。

ボルト締付けトルク 10N・m(1.0kgf・m)



【図2-39】

miniNEOの調整

＜プッシュハンドルの調節＞【図2-40】

- 1) アームレストホルダーに固定している①ボルト、ナット、ワッシャー、スペーサーを取外す。
- 2) プッシュハンドルが最適な高さになる調節穴に合わせる。
- 3) ①ボルト、ナット、ワッシャー、スペーサーで締付ける。
※このときスペーサーがアームレストホルダーの調節穴(大)に収まるように締付けます。
- 4) 高さが足りない場合はインナーパイプを固定している②ボルト、ナット、ワッシャーを取外し、下の調節穴を使用して固定する。
※この調節は固定プッシュハンドルのみで行います。
- 5) 必要に応じて再度、1)～3)の作業を行い最適な高さに合わせる。
- 6) アームレストの③ボルトを緩め、最適な高さに合わせて締付ける。
- 7) 反対側も同様に調節する。

①②ボルト締付けトルク 10N・m(1.0kgf・m)

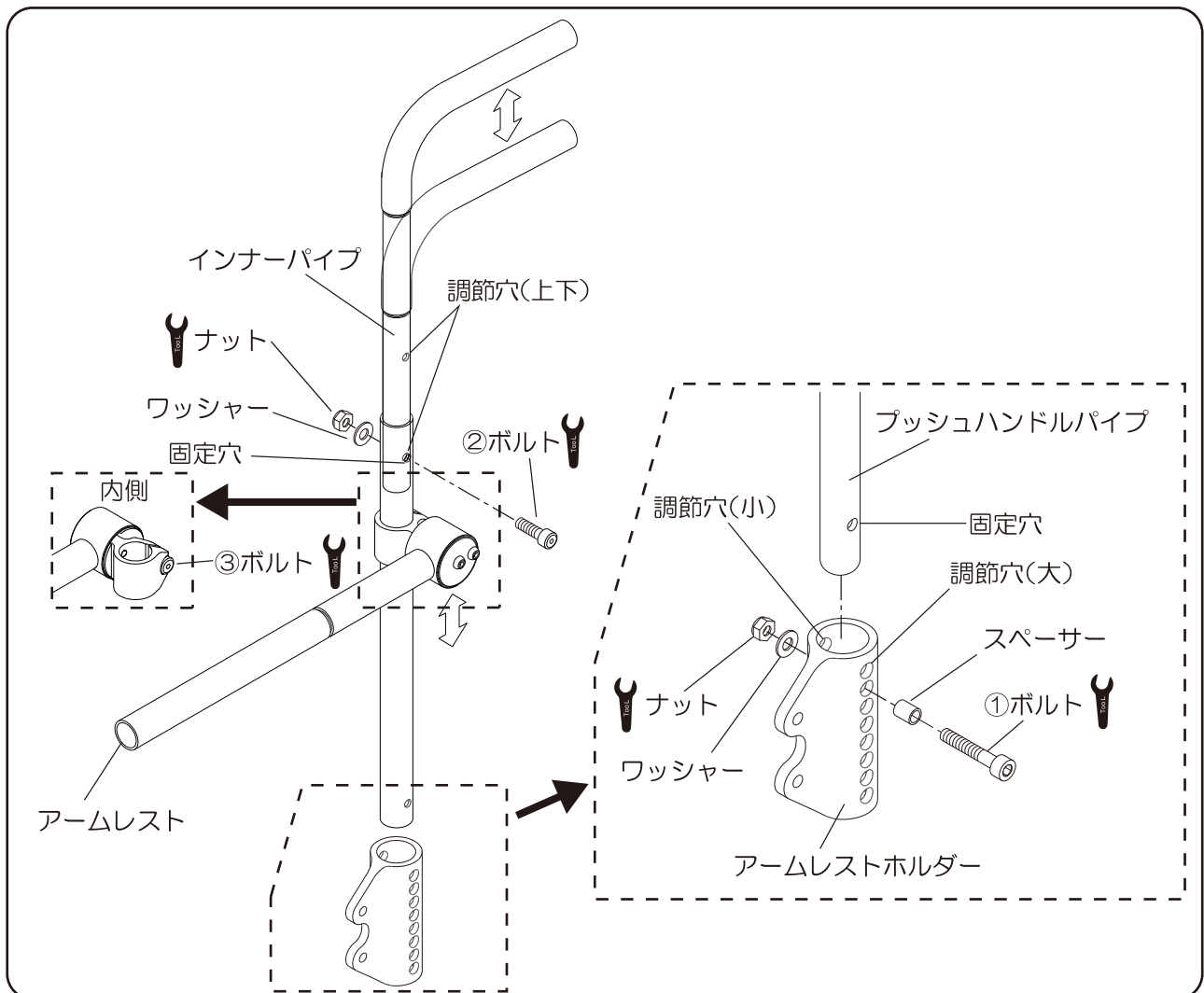
③ボルト締付けトルク 20N・m(2.0kgf・m)

警告

ボルトを締付ける際は
図の順序で組付ける。
*プッシュハンドルが確実に
固定されず事故のおそれ
があります。

警告

プッシュハンドルのボ
ルトはスペーサーを調
節穴(大)に収めてから
締付ける。
*プッシュハンドルが確
実に
固定されず事故のおそれ
があります。
*ボルトとプッシュハンド
ルパイ
プにスペーサーをはさみこ
むように締付けます。



【図2-40】

その他の調整・点検

<SFR2の調整>【図2-41】【図2-42】

- 1) 車いすに乗らない状態で、左右のSFR2の、【図2-41】で示す「A」の寸法を測定する。
- 2) 普段の乗車姿勢で車いすに乗った状態で、1)と同様に【図2-41】の「A」の寸法を測定する。
※1)と2)の寸法の差は、5mm程度が基本的な硬さです。
- 3) 1)と2)の寸法の差が5mm程度でない場合、アジャストナット【図2-41】を付属の工具を使い、次のとおり調整する。
※5mmより小さい場合:【図2-42】の「柔らかくなる」方向へ回す。
※5mmより大きい場合:【図2-42】の「硬くなる」方向へ回す。
※アジャストナットの調整は1回あたり、1/2~1/4回転までとしてください。
※左右共、基本的な硬さ(上記1)と2)の寸法差が5mm程)となるまで調整を繰り返してください。
- 4) 調整後、実際に車いすを走行させ、乗り移り等も十分考慮したうえで最適な硬さであることを確認する。



測定・調整は介助者等に行ってもらおう。

*無理な姿勢での作業は、バランスを崩し転落等のおそれがあります。



測定・調整は左右のキャスターが同様となるようにする。

*左右の設定が異なった状態では、直進性が低下します。著しく異なる場合バランスを崩し、事故・転落等のおそれがあります。



サスペンションの硬さの調整は一度に大きく変えない。

*硬さが一度に大きく変化するとバランスを崩し、事故・転落等のおそれがあります。



基本の硬さから柔らかくしすぎない。

*乗り移り等で車いす前方に加重をかけた場合バランスを崩し、事故・転落等のおそれがあります。



分解・改造等はしない。

*キャスターフォークが破損し、事故・転落等のおそれがあります。



アジャストナットを無理に回さない。

*アジャストナットの調整範囲をこえて無理に回そうとするとキャスターフォークを破損するおそれがあります。

<SFR2の調整範囲>【図2-42】【図2-43】

「柔らかくなる」方向

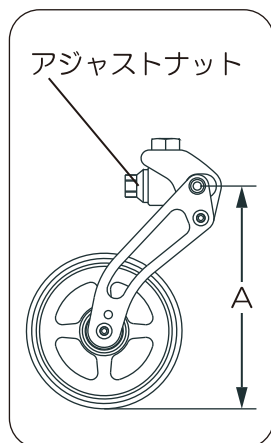
アジャストナットを【図2-42】の「柔らかくなる」方向へあまり力を入れずに回して止まったところが最も柔らかい状態です。それ以上は無理に回さないでください。

「硬くなる」方向

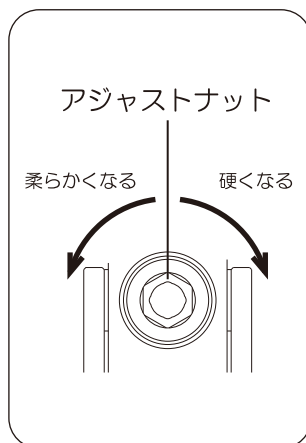
アジャストナットを【図2-42】の「硬くなる」方向へ回して、【図2-43】のMAXラインまでの範囲内で調整してください。

<ゴムダンパーについて>

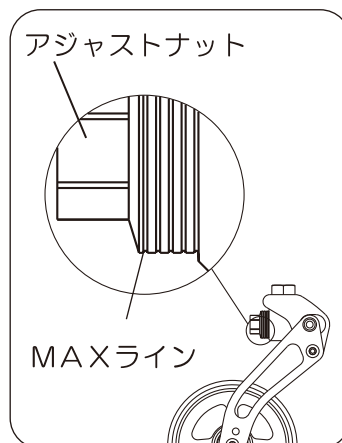
- サスペンションケースのゴムダンパーは、初期のなじみによりサスペンションが柔らかくなりやすいので、適時に上記の調整を行ってください。
- ゴムダンパーは消耗品です。機能が低下した場合は交換してください。



【図2-41】



【図2-42】



【図2-43】

その他の調整・点検

<レッグベルトの着脱>【図2-44】

取外し：レッグベルト裏側左右の面ファスナーをはがす。

取付け：最適な位置に面ファスナーを貼付ける。

※面ファスナーの貼付けしろは左右均等な長さになるようにしてください。

⚠注意

「LPC4」キャスターホイールのゴム交換や清掃の際に潤滑剤やワックスなどの油分を使用しない。

*ゴムが外れ事故のおそれがあります。

*ゴムのひび割れなどの原因となります。

<「LPC4」キャスターホイールのゴム交換>【図2-45】

「LPC4」キャスターホイールのゴムが、減ってきたり深い亀裂が入った時は、お買い求めの販売店でゴム交換を行ってください。

ご自分で交換される場合は、

1) キャスターフォークからキャスターホイールを取外す。

※P.44の<前座高の調節>を参照してください。

2) 軍手など厚みのある手袋を着用して古いゴムをコアから取外す。

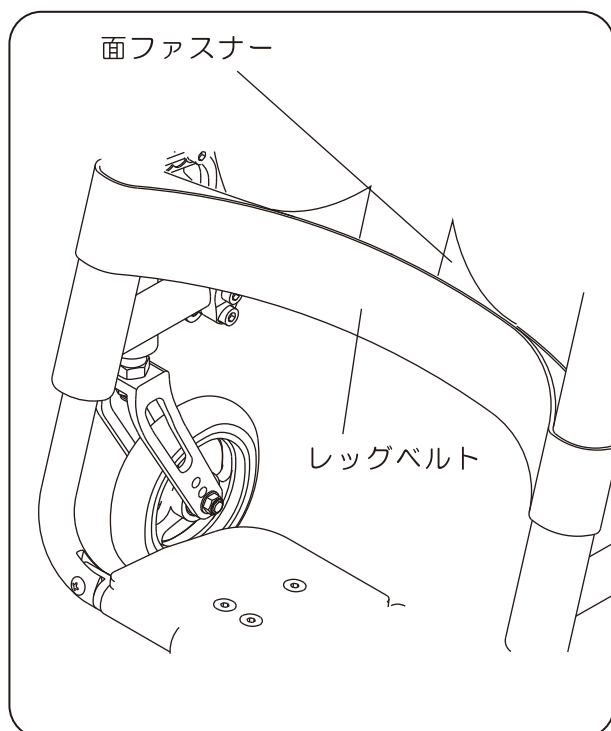
3) 新しいゴムを伸ばしながらコアにはめ込む。

※ある程度の力が必要です。

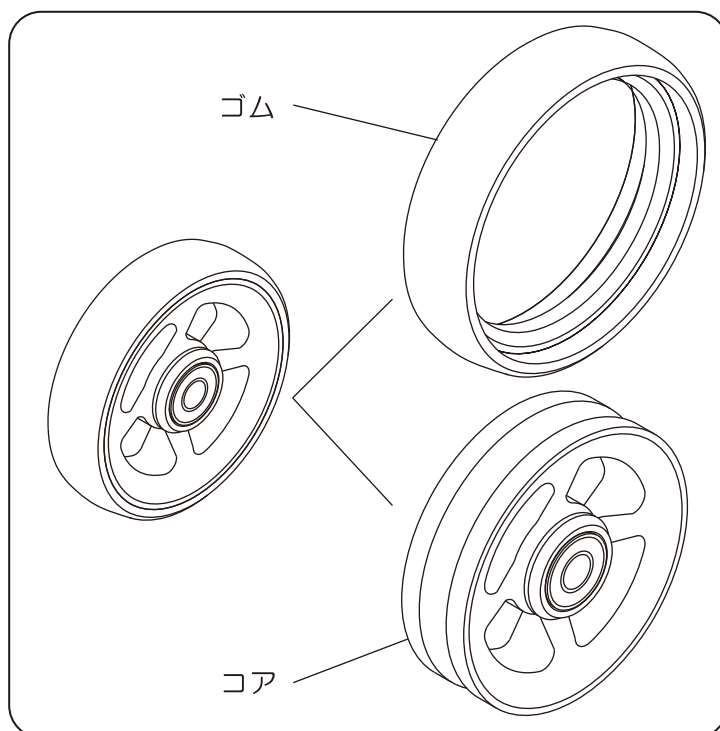
⚠注意

ご自分でゴム交換をされる場合は軍手などを着用する。

*指などはさみ危険です。



【図2-44】



【図2-45】

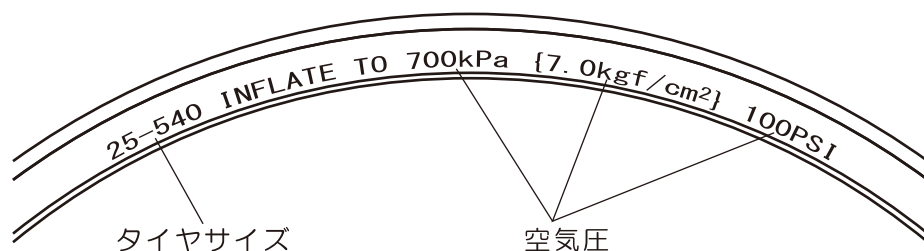
その他の調整・点検

<タイヤの点検>

1. 亀裂、損傷、異物、溝の深さ、異常な磨耗などを点検します。
2. タイヤに異常がある場合はお買い求めの販売店で点検・整備を受けてください。
3. 空気圧は適切か点検してください。

⚠注意

- パンクしたまま使用しないでください。
- 空気圧が少ないと車いすの操作が重くなり、パンクしやすくなります。
- 空気圧が少なすぎると、リムからタイヤが外れるおそれがあります。
- 空気圧が多すぎると気圧や温度の変化でパンクするおそれがあります。
- 左右の空気圧は同一にしてください。



※十分空気が入っていて、タイヤに表示してある空気圧になっていること。

(図の数値は表示の例)

※使用する空気入れのメーター表記にしたいがタイヤに表示された空気圧の指示に合わせてください。

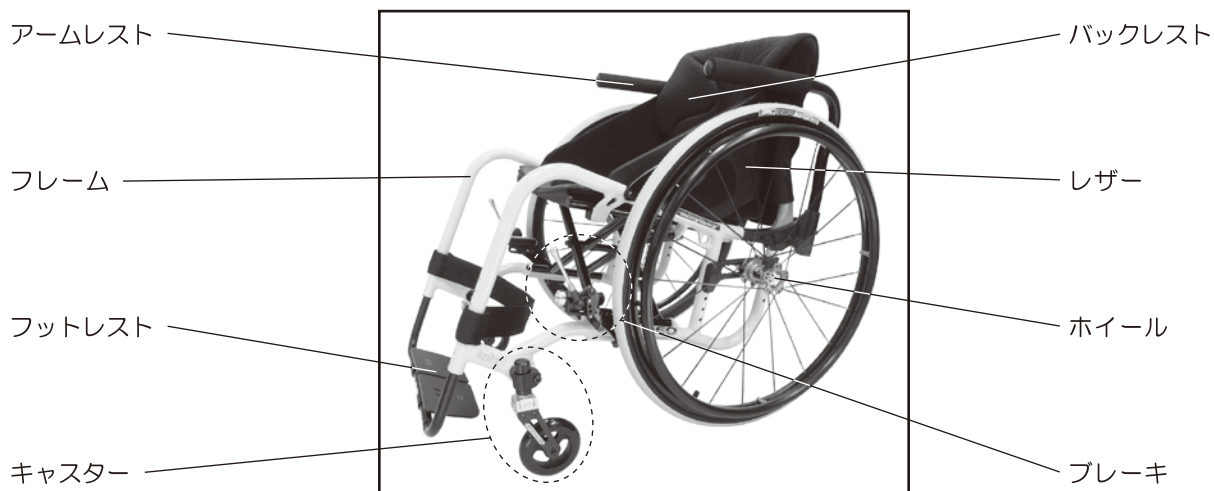
<ホイール回りの点検>

1. ホイールやハンドリムの動きに異常が感じられたら、点検を行い必要に応じて清掃、注油、増し締めを行ってください。
2. ホイールシャフトの動きに異常が感じられたら、点検を行い必要に応じて清掃、注油を行ってください。
3. スポークに緩みがないか点検を行い、異常が感じられたらご使用を止め、販売店または当社営業所までご相談ください。

<その他の点検>

1. ㄚマークの付いている箇所は1か月に1回点検。
緩み、脱落、破損、異音が無いか点検してください。
2. キャスター回りは1か月に1回点検。
曲がり、破損、異音、回転不良が無いか点検してください。
3. ブレーキは毎日乗車する前に点検。
ブレーキの効き、ボルト・ナット類の緩み、脱落などが無いか点検してください。
4. アームレスト、グリップは毎日乗車する前に点検。
ぐらつき、大きなガタつき、ネジ・ナット類の緩み、異音が無いか点検してください。

日常・定期点検



<日常点検>

乗車前には、必ず次の点検を行ってください。

異常があった場合は、各部の調整を行ってください。

調整に不安がある方や、調整しても直らない場合はご使用を止め、販売店または当社営業所までご相談ください。

また、各部の調整を行った後も、必ず次の点検を行ってください。

- 全体的に極端に大きなガタつきやネジ・ボルトの緩み、ひび割れや極端な変形はないか。
- ブレーキの効き具合は適切か。
- タイヤの空気圧は十分か。
- レザーは自分の状態に最適な張り調整になっているか。

※1か月に1回を目安として、ネジ・ボルトの緩みの点検、注油を行ってください。

<定期点検>

1か月に1回を目安として、必ず次の点検を行ってください。

異常があった場合は、各部の調整を行ってください。

調整に不安がある方や、調整しても直らない場合はご使用を止め、販売店または当社営業所までご相談ください。

また、各部の調整を行った後も、必ず次の点検を行ってください。

- 全体的に極端に大きなガタつきはないか。
- ひび割れや変形している箇所はないか。
- ブレーキの動作に問題はないか。
- タイヤの空気圧は十分か。タイヤの溝は十分残っているか。
- レザーは自分の状態に最適な張り調整になっているか。
- キャスターやホイールに引っ掛かりや大きなブレなどの回転不良はないか。
- ネジ・ボルトの緩みはないか。

4章 その他

この章では、各車いすの仕様諸元とお客様
ご相談窓口のご案内を記載しています。

仕様諸元

お客様ご相談窓口のご案内



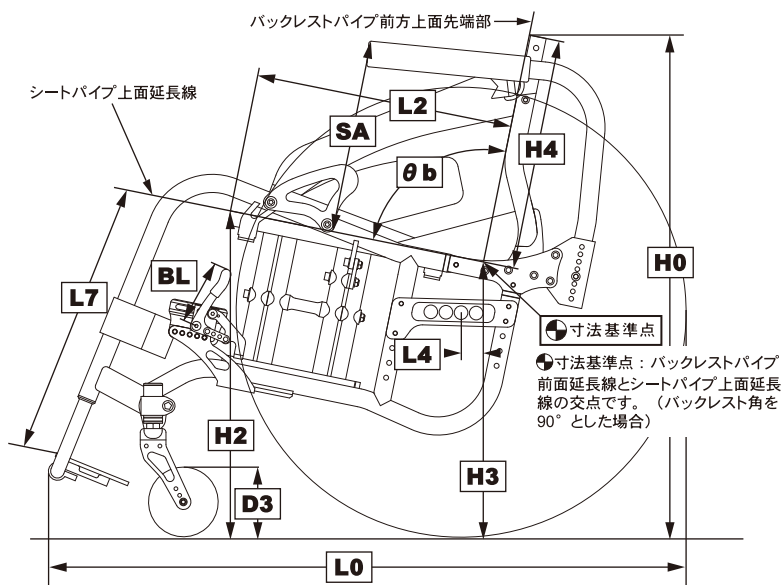
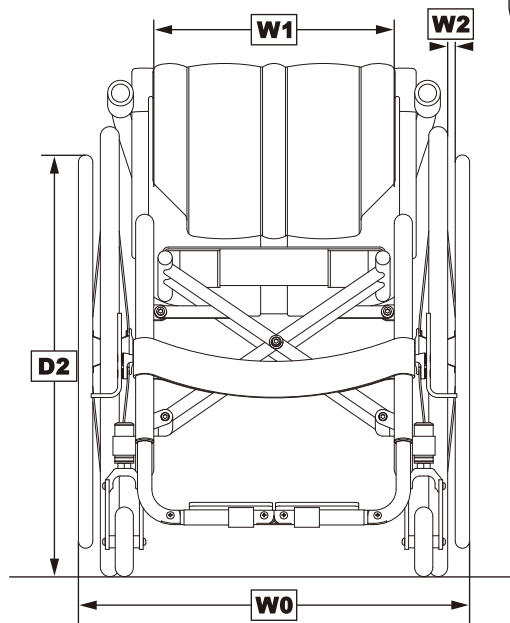
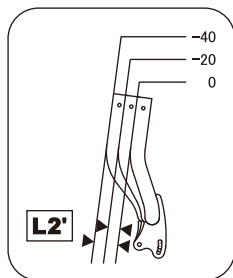
NEO 仕様諸元 (単位: mm)

L0	全長	フレーム:ショート+ロー=840 / ショート+ミディアム=854 / ロング+ロー=873 / ロング+ミディアム=891 / ロング+ハイ=882
H0	全高	フレーム:ロー=639 / ミディアム=637 / ハイ=657
H2	前座高	フレーム:ロー=380 / ミディアム=433 / ハイ=453
H3	後座高	フレーム:ロー=360 / ミディアム=363 / ハイ=383
L2	シート奥行	310~420*バックレストパイプ(前方有効寸法0・-20・-40の3タイプ)とシートパイプ長(350・380・420の3タイプ)の組合せによる。
W1	シート幅	275~415(20mmピッチ)*規格寸法は280~420(20mmピッチ)
W0	全幅	530
WH	折りたたみ幅	315
H4	バックレスト高	ロータイプ=280~330 / ミディアムタイプ=330~380 / ハイタイプ=380~430 / スーパーハイタイプ=440~480(10mmピッチ*可変)
θb	バックレスト角	バックレストパイプ前方オフセット寸法:0=74° ~106° / -20=82° ~114° / -40=90° ~122° [8°ピッチ*可変]
L7	フットレスト長	ハイマウントフットレストでフレーム:ロータイプ=130~270 / ミディアムタイプ=150~290 / ハイタイプ=170~310(10mmピッチ*可変) その他のフットレスト選択でフレーム:ロータイプ=300~340 / ミディアムタイプ=320~410 / ハイタイプ=340~430(10mmピッチ*可変)
D2	タイヤサイズ	25-501(外径:560mm, 幅:22×1-1/4, *22インチ) 25-520(外径:580mm, 幅:24×1-1/8, *23インチ) 25-540(外径:595mm, 幅:24×1-3/8, *24インチ)*ブロックタイヤ装着時は、外径:610mm 25-559(外径:615mm, 幅:26×1.50, *25インチ)
L4	車軸前後位置	バックレストパイプ前方オフセット寸法が 0の場合=20~80(20mmピッチ*可変) バックレストパイプ前方オフセット寸法が-20の場合=0~60(20mmピッチ*可変) バックレストパイプ前方オフセット寸法が-40の場合=-20~40(20mmピッチ*可変)
W3	キャンバー寸法	0
W2	ハンドリム取付間隔	5・10・15・20・25・30
D3	キャスター径	樹脂コア=92・105・127
BL	ブレーキレバー長	NEO・NEO 介助パッケージ=85・120 / NEO Mパッケージ=55・75・110・140
SA	アームレスト高	ロータイプ =260~310 / ハイタイプ=290~350(10mmピッチ*可変)
	重量	NEO : 11.4 kg NEO 介助パッケージ : 12.6 kg 機種、寸法、装着部品により重量は異なります。

※上記仕様諸元表で寸法等の記載の無いものは、次の仕様を元に算出してあります。

シート奥行き:350mm / シート幅:320mm / バックレストオフセット寸法:0mm / バックレスト高:280mm / バックレスト角度:90° / フットレスト長:ハイとミディアムの場合は400mm、ローは330mm / タイヤ:25-540(24インチ) / 車軸前後位置:40mm / 車軸上下位置:ハイは上から2番目、ミディアムとローは上から1番目 / ハンドリム取付間隔:10mm / キャスター径:92mm(樹脂コア) / キャスターホルダー上下位置:ハイとミディアムは下から3段目、ローは下から4段目 / キャスターホイール取付穴最下穴 / フットレスト:プレートジョイント(スタンダード) / オプション、アクセサリ無し

下図寸法の記号

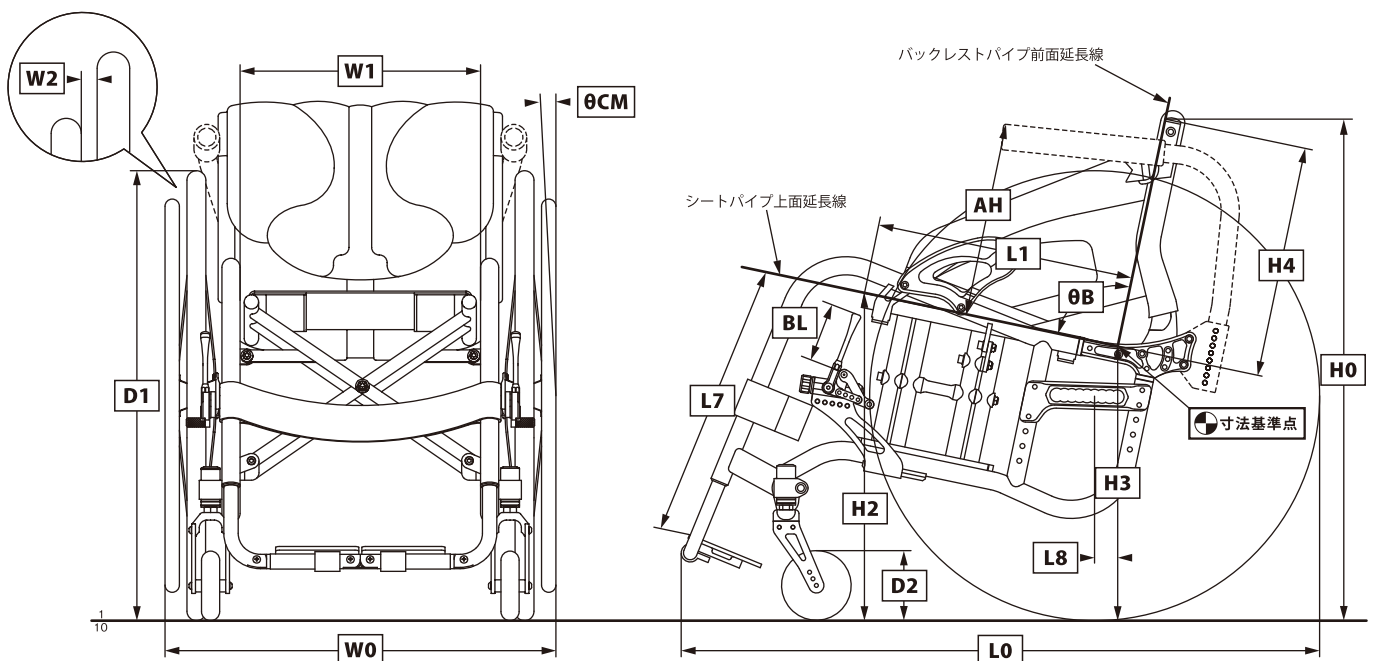


NEOplus 仕様諸元 (単位: mm)

L0	全長	フレーム長&フレーム高: ショート&ロー⇒840 / ショート&ミディアム⇒854 ロング&ロー⇒873 / ロング&ミディアム⇒891 / ロング&ハイ⇒882
H0	全高	フレーム高: ロー⇒639 / ミディアム⇒637 / ハイ⇒657
H2	前座高	フレーム高: ロー⇒380 / ミディアム⇒433 / ハイ⇒453
H3	後座高	フレーム高: ロー⇒360 / ミディアム⇒363 / ハイ⇒383
W1	シート幅	275 ~ 415 [20mmピッチ] *規格寸法は 280 ~ 420mm [20mmピッチ]
L1	シート奥行	バックレストオフセット寸法: 0 ⇒ 350・380・420 / -20 ⇒ 330・360・400 / -40 ⇒ 310・340・380
W0	全幅	530
WH	折りたたみ幅	315
H4	バックレスト高	バックレストタイプ: ロー⇒280~330 / ミディアム⇒330~380 / ハイ⇒380~430 / スーパーハイ⇒440~480 [10mmピッチ・可変]
θB	バックレスト角	バックレストオフセット寸法: 0 ⇒ 70° ~ 106° / -20 ⇒ 78° ~ 114° / -40 ⇒ 86° ~ 122° [4°ピッチ・可変]
D1	タイヤサイズ	25-501 (外径: 560mm, リムサイズ: 22 × 1-1/4, * 22 インチ) 25-520 (外径: 580mm, リムサイズ: 24 × 1-1/8, * 23 インチ) 25-540 (外径: 595mm, リムサイズ: 24 × 1-3/8, * 24 インチ) ※ブロックタイヤ装着時は外径: 610mm 25-559 (外径: 615mm, リムサイズ: 26 × 1.50, * 25 インチ)
L8	車軸前後位置寸法	バックレストオフセット寸法: 0 ⇒ 90 ~ 10 / -20 ⇒ 70 ~ -10 / -40 ⇒ 50 ~ -30 [10mmピッチ・可変]
θCM	キャンバー角	0°
W2	ハンドリム取付間隔	5・10・15・20・25・30
D2	キャストホイール径	WCR5 ⇒ 100・125 / LPC4 ⇒ 80・95・105・125 / ワイドキャスト ⇒ 100・125 / 樹脂コア ⇒ 92・105・127
BL	ブレーキレバー長	55・75・110・140 (水平を除く)
L7	フットレスト長	プレートジョイントstd、パイプジョイントstd、プレートセパレートstdの場合 フレーム高: ロー⇒300~340 / ミディアム⇒320~410 / ハイ⇒340~430 [10mmピッチ・可変] プレートジョイントhi、プレートセパレートhiの場合 フレーム高: ロー⇒130~270 / ミディアム⇒150~290 / ハイ⇒170~310 [10mmピッチ・可変]
AH	アームレスト高	オプション
	重量	10.3kg

※上記仕様諸元表は、次の仕様を元に算出しております。

シート幅: 320mm / シート奥行: 350mm / バックレストオフセット寸法: 0mm / バックレスト高: 280mm / バックレスト角: 90° / フットレスト長: フレーム高がハイとミディアムの場合は 400mm, ローは 330mm / ホイール: AL-5 / タイヤ: 25-540 (外径 595mm) / 車軸前後位置寸法: 40mm / 車軸上下位置: フレーム高がハイは上から 2 番目, ミディアムとローは上から 1 番目 / ハンドリム取付間隔: 10mm / キャスターフォーク: CZ2-Pro / キャスターホイール径: 92mm / キャスターホルダー上下位置: フレーム高がハイとミディアムは下から 3 段目, ローは下から 4 段目 / キャスターホイール取付穴: 3 穴の下穴 / フットレスト: プレートジョイントstd / オプション, アクセサリー: 無し

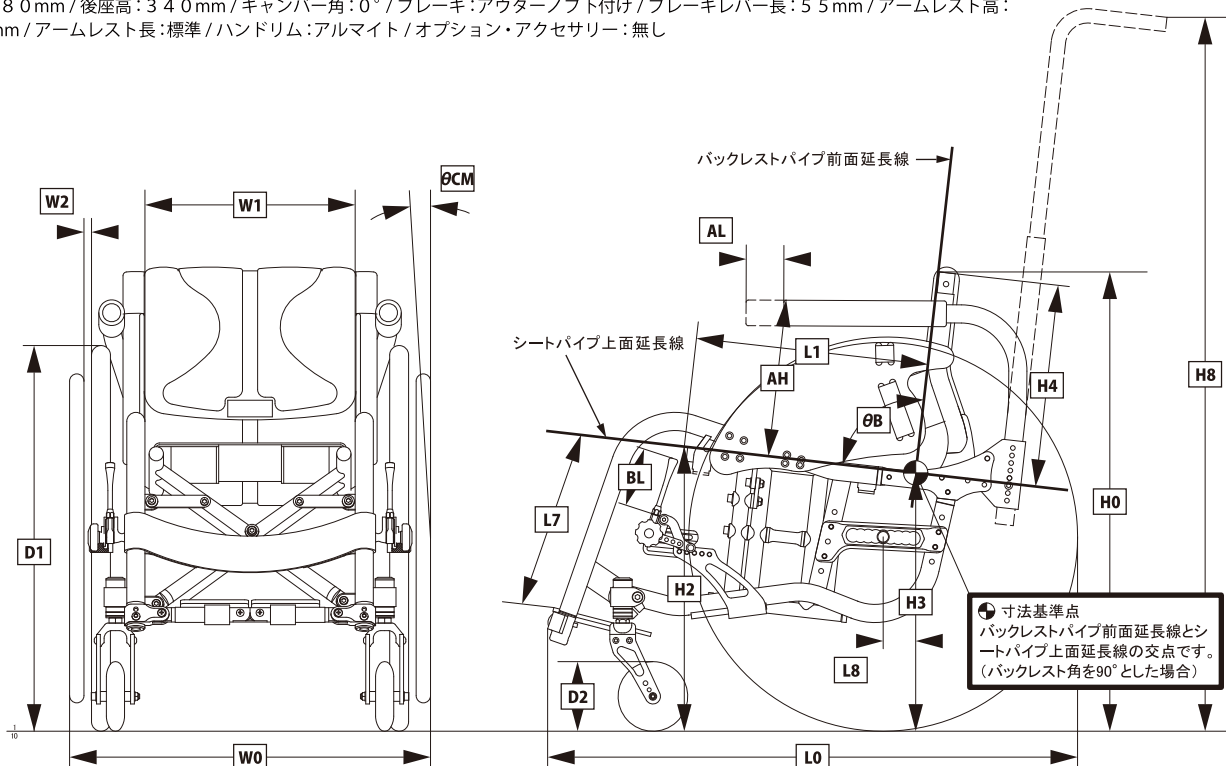


miniNEOキッズ 仕様諸元 (単位: mm)

L0	全長	700
H0	全高	607
H2	前座高	キャストホイール径: 92mm、105mm、ワイドキャスト100mm⇒350~390 [10mmピッチ] 127mm、クッションキャスト125mm、ワイドキャスト125mm⇒360~390 [10mmピッチ] *規格寸法です。±5mm程度の誤差が出る場合があります。
H3	後座高	タイヤサイズ: 37-400 (外径: 470mm、リムサイズ: 18×1-3/8 *18インチ) ⇒300・320・340 23-451 (外径: 510mm、リムサイズ: 20×1-1/8 *20インチ) ⇒320・340・360 *規格寸法です。±5mm程度の誤差が出る場合があります。
W1	シート幅	235~335 [20mmピッチ] *規格寸法は240~340mmです。
L1	シート奥行	シート奥行調節バックレスト寸法: 0⇒280・300 / -20⇒260・280 / -40⇒240・360
W0	全幅	490
H4	バックレスト高	バックレストタイプ: ロー⇒280~330 / ミディアム⇒330~380 / ハイ⇒380~430 スーパーハイ⇒440~480 [10mmピッチ・可変]
θB	バックレスト角	86~106 [4°ピッチ・可変]
L7	フットレスト長	90~230 [10mmピッチ・可変]
D1	タイヤサイズ	37-400 (外径: 470mm、リムサイズ: 18×1-3/8 *18インチ) 23-451 (外径: 510mm、リムサイズ: 20×1-1/8 *20インチ)
L8	車軸前後位置寸法	キャンバー角0°の場合 シート奥行調節バックレスト寸法: 0⇒90~10 / -20⇒70~-10 / -40⇒50~-30 [10mmピッチ・可変] キャンバー角-4°の場合 シート奥行調節バックレスト寸法: 0⇒90~10 / -20⇒70~-10 / -40⇒50~-30 [40mmピッチ・可変]
θCM	キャンバー角	0°..4°
W2	ハンドリム取付間隔	5・10・15・20・25・30
D2	キャストホイール径	樹脂コア (標準装備品)⇒92・105・127 ワイドキャスト (オプション)⇒100・125 / クッションキャスト (オプション)⇒125
BL	ブレーキレバー長	55・75・110・140
AH	アームレスト高	タイヤサイズ37-400 (18インチ) の場合 アームレストタイプ: ロー⇒180~220 / ミディアム⇒210~270 / ハイ⇒270~310 [10mmピッチ・可変] タイヤサイズ23-451 (20インチ) の場合 アームレストタイプ: ミディアム⇒210~270 / ハイ⇒270~310 [10mmピッチ・可変]
AL	アームレスト長	標準・+50
	重量	エンジョイ⇒10.8kg / スクール⇒13.1kg

※上記仕様諸元表は、次の仕様を元に算出してあります。

シート幅: 280mm / シート奥行: 300mm / シート奥行調節バックレスト寸法: 0mm / バックレスト高: 280mm / バックレスト角: 90° / タイヤ: 23-451 (外径: 510mm、リムサイズ: 20×1-1/8 *20インチ) / 車軸前後位置寸法: 50mm / ハンドリム取付間隔: 10mm / キャスターホイール径: 92mm / フットレスト: プレートジョイントhi / フレームタイプ: 前方形状アップ / 前座高: 380mm / 後座高: 340mm / キャンバー角: 0° / ブレーキ: アウターノブ下付け / ブレーキレバー長: 55mm / アームレスト高: 210mm / アームレスト長: 標準 / ハンドリム: アルマイト / オプション・アクセサリ: 無し



miniNEOジュニア 仕様諸元 (単位: mm)		
L0	全長	770
H0	全高	フレーム高: ロー⇒595 / ミディアム⇒640
H2	前座高	キャスターホイール径92mm、105mm、ワイドキャスター100mmの場合 フレーム高: ロー⇒350~390 / ミディアム⇒420~460 [10mmピッチ] キャスターホイール径127mm、クッションキャスター125mm、ワイドキャスター125mmの場合 フレーム高: ロー⇒360~390 / ミディアム⇒430~460 [10mmピッチ] *規格寸法です。±5mm程度の誤差が出る場合があります。
H3	後座高	フレーム高: ロー⇒340・360・380 / ミディアム⇒370・390・410 *規格寸法です。±5mm程度の誤差が出る場合があります。
W1	シート幅	275~335 [20mmピッチ] *規格寸法は280~340mmです。
L1	シート奥行	シート奥行調節バックレスト寸法: 0⇒350・380 / -20⇒330・360 / -40⇒310・340
W0	全幅	490
H4	バックレスト高	バックレストタイプ: ロー⇒280~330 / ミディアム⇒330~380 / ハイ⇒380~430 スーパーハイ⇒440~480 [10mmピッチ・可変]
θB	バックレスト角	86~106 [4°ピッチ・可変]
L7	フットレスト長	フレーム高: ロー⇒90~250 / ミディアム⇒160~320 [10mmピッチ・可変]
D1	タイヤサイズ	25-501 (外径: 560mm、リムサイズ: 22×1-1/4 *22インチ)
L8	車軸前後位置寸法	キャンバー角0°の場合 シート奥行調節バックレスト寸法: 0⇒90~10 / -20⇒70~-10 / -40⇒50~-30 [10mmピッチ・可変] キャンバー角-4°の場合 シート奥行調節バックレスト寸法: 0⇒90~10 / -20⇒70~-10 / -40⇒50~-30 [40mmピッチ・可変]
θCM	キャンバー角	0° - 4°
W2	ハンドリム取付間隔	5・10・15・20・25・30
D2	キャスターホイール径	樹脂コア (標準装備品)⇒92・105・127 ワイドキャスター (オプション)⇒100・125 / クッションキャスター (オプション)⇒125
BL	ブレーキレバー長	55・75・110・140
AH	アームレスト高	アームレストタイプ: ミディアム⇒240~270 / ハイ⇒270~310 [10mmピッチ・可変]
AL	アームレスト長	標準・+50
	重量	エンジョイ⇒11.3kg / スクール⇒13.6kg

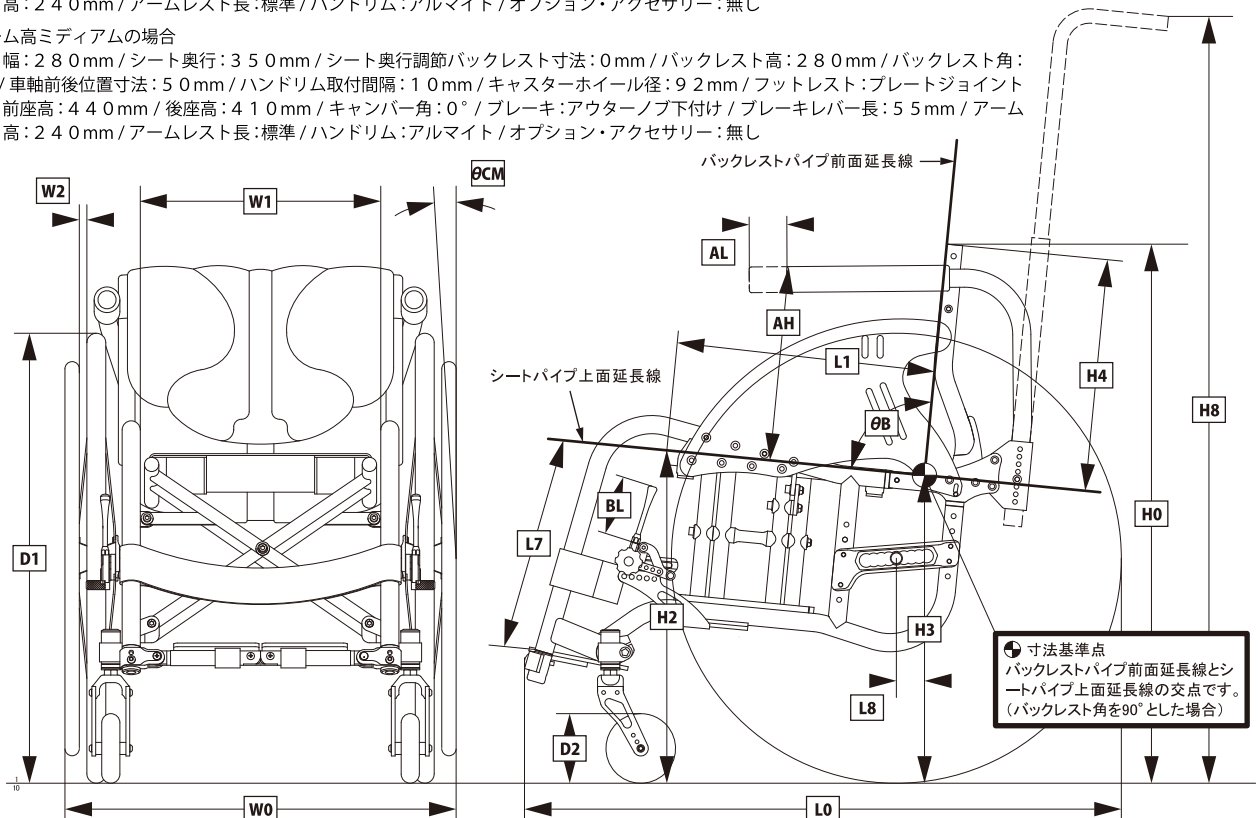
※上記仕様諸元表は、次の仕様を元に算出しております。

フレーム高ローの場合

シート幅: 280mm / シート奥行: 350mm / シート奥行調節バックレスト寸法: 0mm / バックレスト高: 280mm / バックレスト角: 90° / 車軸前後位置寸法: 50mm / ハンドリム取付間隔: 10mm / キャスターホイール径: 92mm / フットレスト: プレートジョイント h i / 前座高: 370mm / 後座高: 340mm / キャンバー角: 0° / ブレーキ: アウターノブ下付け / ブレーキレバー長: 55mm / アームレスト高: 240mm / アームレスト長: 標準 / ハンドリム: アルマイト / オプション・アクセサリ: 無し

フレーム高ミディアムの場合

シート幅: 280mm / シート奥行: 350mm / シート奥行調節バックレスト寸法: 0mm / バックレスト高: 280mm / バックレスト角: 90° / 車軸前後位置寸法: 50mm / ハンドリム取付間隔: 10mm / キャスターホイール径: 92mm / フットレスト: プレートジョイント h i / 前座高: 440mm / 後座高: 410mm / キャンバー角: 0° / ブレーキ: アウターノブ下付け / ブレーキレバー長: 55mm / アームレスト高: 240mm / アームレスト長: 標準 / ハンドリム: アルマイト / オプション・アクセサリ: 無し



お客様ご相談窓口のご案内

《お客様ご相談窓口》

お買い上げいただきました当社の製品やサービスについてご質問・ご意見・ご要望などがございましたらご遠慮なくお寄せください。また、各種オプション・アクセサリ一のお問い合わせもご遠慮なくお寄せください。

株式会社オーエックスエンジニアリング
営業部 お客様ご相談窓口

TEL 043-228-0777 FAX 043-228-3334

《アフターサービスの実施》

お買い上げいただきました販売店が点検・修理をはじめ、アフターサービスのご相談などをお受けいたします。

当社への部品のお問い合わせや、故障箇所をご説明いただくときなどは次の方法でお問い合わせください。

本書をお手元に用意していただき、巻末の記載を確認して、「NEO/NEO plus
〇〇年〇月〇版の〇〇ページの、図〇-〇の、〇〇〇」とご説明ください。

例) 28ページの、図2-4の「取付けボルト」

例) 40ページの、図2-25の「①ナット」

お問い合わせ先

株式会社 オーエックスエンジニアリング

営業部 お客様相談窓口

〒265-0043 千葉市若葉区中田町2186-1

TEL043-228-0777

FAX043-228-3334

《パンクでお急ぎの場合には》

お近くの自転車販売店に修理を依頼してください。

販売元
株式会社オーエックスエンジニアリング

〒265-0043 千葉県若葉区中田町2186-1
URL www.oxgroup.co.jp



不法廃棄はしないでください。